

平成二十四年度

合気道

武蔵大学



熊本大学合気道部



創始者 植芝盛平翁（昭和44年4月26日 86才 入神）

## 合氣道の精神

合氣とは愛なり。天地の心を以て我が心とし、万有愛護の大精神を以て自己の使命を完遂することこそ武の道であらねばならぬ。合氣とは自己に打ち克ち敵として戦ふ心無からしむ、舌、敵そのものを無くすも絶対的自己完成の道なり、而して武技は天の理法を体に移し、靈肉一体の至上境に至るの業であり、道程である。

---

# 創立50周年記念 熊本大学合氣道部 演武大会

---

■日時 平成24年11月24日(土)

午後1時開演

■会場 熊本公徳会武道場

■主催 熊本大学体育会合氣道部

■後援

熊本日日新聞社

NHK熊本放送局

熊本放送

テレビ熊本

くまもと県民テレビ

熊本朝日放送

F M 7 9 1

エフエム熊本

万生館合氣道本部

## 巻頭言

大会実行委員長

木野 唯 可



本日は、熊本大学合気道部創立五十周年記念演武大会に御来場頂きまして、誠に有難うございます。こうしてこの演武大会が開催できますことは、部員一同にとりまして大きな喜びでございます。

我が熊本大学合気道部は今年で創部五十周年を迎えました。記念すべき五十年目の演武大会を私達がとり行えますことを、心より誇りに思っております。現在、現役十三名という少ない人数ではありますが、半世紀という長い歴史の中で先輩方が残されてきた技と伝統を、また新たな世代へと伝えていくべく、日々稽古に励んで参りました。五十年の歴史を背負う責任と重圧の中で、部員同士の衝突もありましたが、無事この日を迎えることができ、感無量でございます。本日は、学生らしい、気迫のある演武を披露させて頂く所存でございます。どうぞ最後までゆつくりと御覧くださいますよう御願い申し上げます。

最後になりましたが、本演武会を開催するにあたり、御指導、御鞭撻下さいました万生館合気道の皆様、また御支援下さった諸先輩方、並びにその他関係者各位の皆様にご心より厚く御礼申し上げますと共に、今後とも変わらぬ御指導、御鞭撻のほどをよろしく御願い申し上げます。

つたない文章ではありますが、以上をもちまして巻頭言とさせていただきます。



## 熊本大学体育会合氣道部師範 万生館合氣道館長 砂泊誠秀先生の足跡

大正十二年七月十一日鹿児島県に生まれる。

十代で合氣道開祖植芝盛平翁の内弟子として合氣道入門、翁より心身両面の指導を受ける。

昭和二十八年十一月二十三日熊本市に於いて、九州で初めての合氣道演武公開を行う。

昭和二十九年（三十一歳）一月から熊本市に於いて、合氣道万生館道場を開設、熊本を中心に九州各地に合氣道の普及を図る。

昭和三十六年（三十八歳）に合氣道創始者植芝盛平翁より、合氣道九段を許可される。

昭和三十八年に熊本大学体育会合氣道部が発足、以後同部師範として、万生館合氣道館長砂泊誠秀先生より指導を行う。

昭和四十四年創始者ご逝去を機に従来の組織を離れ、真の合氣道の探求に入る。  
以後万生館合氣道として独立、本部を熊本市に置き活動。

平成十一年に名称を合氣万生道と改める。

植芝盛平翁の遺訓「武産合氣」の実践により、独自の合氣道論を開眼する。

平成二十年一月十一日、万生館合氣道に名称を改める。

本部熊本にて、毎月有段者研修会を開き、各地から集まった多数の有段者や学生に直接手を取らせ、本物を伝えている。

著書として、「合氣道の心を求めて」「合氣道の心 呼吸力」「続・合氣道の心 呼吸力」

「続々・合氣道の心」「続・合氣道の心を求めて」「合氣道 悟道」「合氣道で悟る」などがある。



## 部長挨拶

熊本大学体育会合気道部部长 松田博貴

本日ここに、熊本大学合気道部第五十周年記念合同演武大会を開催することができ、部員共々、大きな喜びとして受け止めております。熊本大学合気道部部长を務めさせていただいております松田と申します。この場を借りて、一言、ご挨拶申し上げます。

五十周年と簡単に申しましたが、半世紀に及ぶこの長い年月の間、多くの部員が合気道部に入部し、日々の研鑽を積み重ね、そして社会へと巣立ち、社会の一員として活躍してまいりました。この間に、大学では大学紛争や大学法人化が起こり、社会はオイルショック、バブルの崩壊など、我々の生活の根幹を揺るがす事態を経験しました。また近年では、政治の世界や国際関係・情勢も大きく変貌すると共に、地球規模での環境問題も深刻化し、渾沌とした不安に渦巻く将来・未来が見え隠れしています。このような社会変化の中で、五十年という間、熊本大学合気道部が活動し続けることができたのは、ひとえに部員一人一人の努力の賜物であります。それに加え、多くの諸先生・諸先輩方からのご指導と暖かいご支援・ご協力の賜物と思っております。合気道の精神は、「自己の研鑽と確立」と「他者への思慮と敬意」です。東日本大震災を通じて再確認した『絆』もまた、互いに思いやり、助け合い、そして協力し合って築くものであり、まさに合気道を学ぶ一人一人が、日々の練習を通じて体得するものではないかと思えます。「心」・「技」・「体」の融合による成熟した「個」が、社会を構成する一人一人にはいつの時代にも重要です。本日、各部員からは、「演武」として、この一年間の研鑽により磨き上げられた「個」が表現されるものと思えます。五十年にわたり、先輩から後輩へと受け継がれ、そして修得した合気道の「自己の研鑽と確立」と「他者への思慮と敬意」の精神は、部員一人一人にとって、そして合気道部にとって、次なる時代・世代への貴重な財産となるものと信じております。

第五十周年記念合同演武会を催すにあたり、長きにわたり熊本大学合気道部を指導し、合気道の精神を教えていただいている万生館合気道の諸先生・諸先輩の方々には心からお礼を申し上げます。また様々な角度からご協力ご支援を賜っている合気道部の先輩諸氏ならびに関係各位には敬意を表する次第です。また共に合気道の技と精神を学ぶ仲間として、練習場を提供くださったっている熊本学園大学合気道部員、さらに互いに励まし合っている他大学の合気道部員の皆様にもお礼申し上げます。今後の皆様方の益々のご活躍をお祈りいたします。

ここに本演武会の開催にあたりご後援頂いている関係機関、およびご来場の皆様には心よりお礼申し上げますとともに、どうぞよろしくご高覧頂きますよう、心よりお願い申し上げます。



## OB会長挨拶

熊本大学合気道部OB会会長

中山 広海

本日ここに熊本大学合気道部創立五〇周年を記念する演武大会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

きょうの開催に至るまで後輩達を支えてくださった皆様方にOB会を代表しまして厚く御礼申し上げます。特に、万生館合気道の先生方には日頃から熱心な、また厳しくも暖かなご指導とご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

また、九州学生合気道連盟傘下の各大学の皆様にもお互いに錬磨を重ねる中で大切な青春時代の篤い友情を結んでくださっていることに対し、この場をお借りして御礼申し上げます。

きょうの演武大会は、学生諸君が日頃の練習の成果を披露してくれる場でありますが、一生懸命の演武を通して、これまで培った若者としての成長ぶりを存分に見せてくれるものと期待しております。

私も合気道部五〇年の軌跡を振り返るとき、創立間もない頃の先輩方が未踏の大地を踏みしめる思いで草創期の労をとられ、それを引き継いだメンバーの不断の努力により、今日まで連綿と絶えることなく部活動の道が続いてまいりました。そして何より、関係者の皆様に暖かく見守っていただく中でこそ、栄えある歴史を刻むことができたと確信しております。衷心より感謝申し上げます。

我が熊本大学合気道部OB会としては、この創立五〇周年の佳節を機に会員相互の親睦を更に深めるとともに、母校合気道部の発展に大いなる貢献を果たしてまいりたいと決意を新たにしているところです。皆様には一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、合気道のさらなる隆盛と関係者の皆様の方々の健康を祈念して挨拶とさせていただきます。

JAPANESE BARRISTER BENGOSHI

TOSHIO NOGUCHI

AKIKO NOGUCHI

野口法律事務所

弁護士 野口 敏 夫

弁護士 野口 明 子



## 主将挨拶

熊本大学合気道部主将

井手口 貴弘

本日は熊本大学体育会合気道部創立五十周年記念演武大会に御来場頂きまして誠にありがとうございます。このことは部員一同にとりまして誠に大きな喜びでございます。

私たち熊本大学合気道部も今年で大きな節目となる創立五十周年を迎え、私たちはその伝統と歴史の重みを深く感じており、我々幹部はこの記念すべき年の演武会で演武を披露できること大変嬉しく感じております。大きな節目となる五十周年でございますが、熊大合気道部の名に恥じぬ演武を披露し、この伝統と歴史を次の代へ繋ぐ事の出来るよう、これからの稽古にも励む所存でございます。どうぞ最後までごゆっくりご覧くださいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本演武会開催にあたり、ご指導、ご鞭撻くださいました万生館合気道本部道場の皆さま、ご支援くださった諸先輩方、並びに関係者各位の皆様に心より厚くお礼を申し上げます。



# 熊本信用金庫



## 九連委員長挨拶

九州学生合気道連盟委員長

山崎 詩織

熊本大学合気道部創立五十周年記念演武大会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

まずは、熊本大学合気道部五十周年誠にありがとうございます。五十周年という深い伝統を守り続け、今回無事に創立五十周年記念演武大会を迎えられましたのも、砂泊先生を始め、歴代の諸先輩方、現役部員の方々の日々の努力の賜物であると思います。

我々、九州学生合気道連盟もまた、今年で四十七周年という永い歴史を刻み、先輩方が築き上げられた伝統を守りながら、これからより一層発展していくよう努めていきたいと思っています。

また、今大会は九州学生合気道連盟の秋季最後の演武大会となります。連盟加盟校一同、協力し合い、日頃の稽古の成果を十分に発揮してくれることと思います。御来場の皆様には、合気道の素晴らしさや学生の合気道に対する情熱が伝われば幸いです。

最後になりましたが、本大会開催にあたりましてご支援をいただきました、先生方、先輩方、その他関係各位の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、今後とも九州学生合気道連盟への御指導、御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

コンパ・宴会50名まで承ります。

居酒屋 **かくれ家**

▲ 343-2437 (肥後銀行子飼支店前)



株式会社 **みどり印刷社**

熊本市中央区黒髪4・16・18 〒860-0862  
Phone 096-343-5144 Fax 096-344-4533

Cleaning



き・れ・い

目のまわりのくろ  
はいつに消えさせよう  
お肌のくろ  
はいつに消えさせよう

**今村クリーニング**  
熊本市中央区薬園町9-4  
☎ 096-343-6890



**Hotto Motto**  
ほっともっと

**熊大前店**

〒860-0862  
熊本市中央区黒髪2-31-28  
Tel 096-345-3327  
Fax 096-345-3327



| 三回生       |         |         |            | 四回生        |            |           |           |
|-----------|---------|---------|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| 主将        | 本部担当    | 副将      | 渉外         | 主将         | 本部担当       | 副将        | 主務        |
| 井手口貴弘     | 鎌田 愛美   | 齊藤 健人   | 木野 唯可      | 瀬口 真人      | 緒方 詩帆      | 中村 真人     | 企画 統制     |
| 工・マテ      | 法・法     | 工・建築    | 工・物生       | 理・理        | 文・歴        | 文・コミ      | OB連絡      |
|           |         |         |            |            |            |           |           |
| 一回生       |         |         |            | 二回生        |            |           |           |
| 安本 彩乃 法・法 | 上橋 壮太 理 | 西村 衣未 医 | 松本茉莉花 教・特支 | 山田 雄太 工・情電 | 荒川 拓登 教・小学 | 堀之内里美 法・法 | 前田 夢依 法・法 |
|           |         |         |            |            |            |           |           |

# 式次第

- 一、開会の辞
- 一、実行委員長挨拶
- 一、部長挨拶
- 一、OB会長挨拶
- 一、主将挨拶
- 一、九連委員長挨拶

## 演武大会

### 第一部

- |             |            |                               |      |             |                |                               |
|-------------|------------|-------------------------------|------|-------------|----------------|-------------------------------|
| (7)         | (6)        | (5)                           | (4)  | (3)         | (2)            | (1)                           |
| 三年自由技       | 招待演武       | 立技                            | 賛助演武 | 招待演武        | 短剣技            | 基本技<br>(突き座技)                 |
| 井手口貴弘・齊藤 健人 | 熊本学園大学…武器技 | 木野 唯可<br>前田 夢依<br>松本茉莉花・水田加奈子 |      | 佐賀大学…対男性二人掛 | 井手口貴弘<br>堀之内里美 | 鎌田 愛美<br>荒川 拓登<br>西村 衣未・水田加奈子 |
| (三回生)       |            | (三回生)<br>(二回生)<br>(二回生)       |      |             | (三回生)<br>(二回生) | (三回生)<br>(二回生)<br>(二回生)       |

### へ幹部紹介

- |                               |                |                |      |                               |           |      |                                     |            |                               |
|-------------------------------|----------------|----------------|------|-------------------------------|-----------|------|-------------------------------------|------------|-------------------------------|
| (17)                          | (16)           | (15)           | (14) | (13)                          | (12)      | (11) | (10)                                | (9)        | (8)                           |
| 【舞踊】<br>男の魂                   | 座技             | 杖技             | 賛助演武 | 木剣三人掛                         | 招待演武      | 賛助演武 | 武器<br>多数者攻撃                         | 招待演武       | 杖の型                           |
| 木野 唯可<br>堀之内里美<br>安本 彩乃・西村 衣未 | 鎌田 愛美<br>前田 夢依 | 木野 唯可<br>山田 雄太 |      | 井手口貴弘・齊藤 健人<br>荒川 拓登<br>上橋 壮太 | 鹿児島大学…自由技 |      | 井手口貴弘・鎌田 愛美<br>齊藤 健人・木野 唯可<br>堀之内里美 | 福岡大学…多数者攻撃 | 山田 雄太<br>安本 彩乃・西村 衣未<br>松本茉莉花 |
| (三回生)<br>(二回生)<br>(二回生)       | (三回生)<br>(二回生) | (三回生)<br>(二回生) |      | (三回生)<br>(二回生)<br>(二回生)       |           |      | (三回生)<br>(二回生)                      |            | (二回生)<br>(二回生)                |

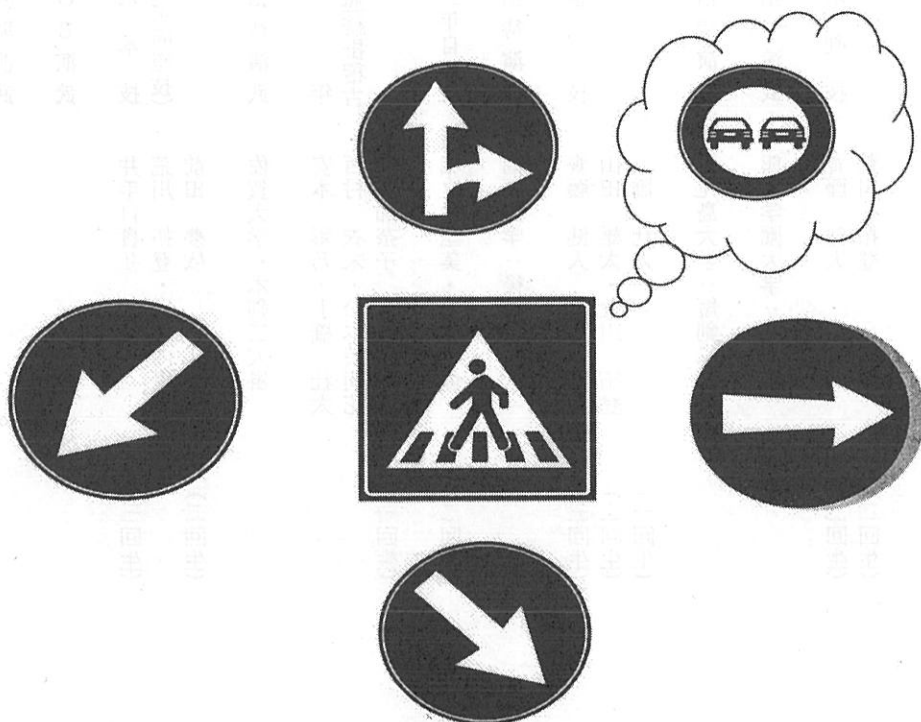
第二部

|      |               |                                     |
|------|---------------|-------------------------------------|
| (18) | 賛助演武          |                                     |
| (19) | O B 演武        |                                     |
| (20) | 基本技<br>(正面座技) | 井手口貴弘<br>荒川 拓登・堀之内里美<br>前田 夢依       |
| (21) | 招待演武          | 佐賀大学・木剣二人掛                          |
| (22) | 一年<br>連続掛稽古   | 安本 彩乃・上橋 壮太<br>西村 衣未・松本茉莉花<br>水田加奈子 |
| (23) | 二年自由技         | 堀之内里美・前田夢依                          |
| (24) | 招待演武          | 福岡大学・後技                             |
| (25) | 腰技            | 齊藤 健人<br>山田 雄太・荒川 拓登<br>上橋 壮太       |
| (26) | 招待演武          | 鹿児島大学・短剣二人掛                         |
| (27) | 招待演武          | 熊本学園大学・二人掛                          |
| (28) | 木剣技           | 齊藤 健人<br>荒川 拓登                      |
| (29) | 一年自由技         | 安本 彩乃・上橋 壮太                         |

|      |               |                               |
|------|---------------|-------------------------------|
| (30) | 杖二人掛          | 鎌田 愛美・木野 唯可<br>山田 雄太          |
| (31) | 賛助演武          |                               |
| (32) | 多数者攻撃         | 井手口貴弘・鎌田 愛美<br>齊藤 健人・木野 唯可    |
| (33) | 【舞踊】<br>花の合氣道 | 鎌田 愛美<br>前田 夢依<br>松本茉莉花・水田加奈子 |

礼拝

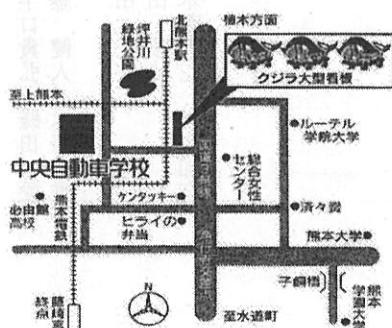
一、閉会の辞



どの自動車学校行こうか 迷ったら・・・

ハートで教習♪

中央自動車学校 **chao** DRIVING SCHOOL



お気軽にお電話ください。  
すぐに詳しい入学案内をお送りします。

0120-618-625

<http://www.chuo-ds.com>



## 武夫原頭に草萌えて

仰げば聖斗爛爛として永遠の真理を囁く  
頭をめぐらせば蘇山遠々として

我等若人の情熱をそそる

天地の恵み豊かなる肥後の一角

立山の麓 白川の畔

これぞ我等熊本健児が地なり

いざや舞わんかな 狂わんかな 唄わんかな

我等が剛毅朴訥の調べを

一、二、三

一、武夫原頭に草萌えて 花の香甘く夢に入り

竜田の山に秋進いて 雁が音遠き月影に

高く聳ゆる三寮の 歴史やうつる十余年

二、夫れ西海の一聖地 濁世の波を永遠にせき

健児が胸に青春の 意気や溢ふる五高魂

その剛健の質なりて 玲瓏てらす人の道

三、時潮のめぐりたゆみなく 移りてここに十年の

思うや狂う湖北の地 断雲乱れ飛ぶ所

斬魔の剣音さえて スラブの末路今ぞみる

四、時艱にして義を思い 塵世に節を偲ぶかな

ああ新興の氣を負いて 浮華の日にわれ立てば

思いは馳する朴訥の 流風薫る銀杏城

五、さらば我友叫ばずや 時と人とを論ずべく

見よ龍南に一道の 正氣ありてぞ日の本の

青年の名に力あり 二十世紀に光あり

## 静かなる男の唄

熊大合氣道部に捧げる唄  
第九代幹部作

一、月下の雫背に受けて

思えば遠きこの道

若き我等の意気高し

ああ熊大合氣道

二、酒杯に浮かぶ一夢の

明日の心を誰が知る

今日の激しく燃ゆる身は

ああ熊大合氣道

三、武産合氣の旗の下

つらい試練のその中に

求めん真理の血と汗の

ああ熊大合氣道

ヘア・クラフト

PaPa's

宇城市松橋町両仲間457-1

☎ 0964-336464

## 子飼 武藤眼科 大久保内科

理事長 武藤宏一郎 (日本眼科学会 眼科専門医)

院長 大久保康生 (日本糖尿病学会 糖尿病専門医)

| 診療時間      | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土          |
|-----------|---|---|---|---|---|------------|
| 9:00~1:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○          |
| 2:30~7:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 5:00<br>まで |

☎ (096) 343-3510

月の最終土曜日は休みです

熊本市中央区子飼本町1番18号  
(子飼交叉点より国道筋東50米)



**インテリア建材・店舗資材・住宅機器**



# **志岐産業株式会社**

**志 岐 和 雄**

**(熊本学園大学合気道部OB)**

**本社** 〒862-0971

**熊本市中央区大江 2 丁目 4 の 8**

**電 話 (代) (096) 372-1188**

**F A X (096) 362-0171**

**倉庫** 熊本市東区小山町尾の上 638-1

## 五十代 幹部紹介

主将 兼 万生館合気道連絡担当

井手口 貴弘



熊本大学工学部マテリアル工学科ブス専攻。いや、ブス専と言うのには少し語弊があるのかもしれない。井手口にとっての可愛いとは、多部未華子を基準とした多部ちゃんラインなるものによって定義されており、そのラインを外れる者は世間一般的にみてどんなに美人とされる人でも、またどんなに可愛くない人でも同じブスとして一括りにされる。ある意味、最も公平な目を持った男と言えるだろう。私は約二年と八ヶ月、この多部ちゃんラインに該当すべく日々精進してきた。だが、最近気づいたのだがこの多部ちゃんラインは男にも当てはめていいものだろうか。今日は私の気持ちに終止符を打ついい機会だ。井手口にこの疑問をぶつけてみようと思う。

副将 兼 渉外 兼 OB連絡担当

鎌田 愛美



種子島が生み出した直立二足歩行型(たまに這う)有機生命体。その名も最終兵器 KAMADA。眼球から放出される強力な不可視光線は標的を萎縮させ、意のままに操ることが出来るとか出来ないとか。最大の武器はその小柄な体に内蔵された強靱な肝臓。ビール・焼酎・日本酒を多量流し込んででもその処理能力が低下することはない、アセトアルデヒドは瞬時に消滅する。だがそんな彼女も昔からなかなか治らないクマを気にするという一般的な女性らしい一面を持っている。また、ヒトのTシャツから見え隠れする鎖骨に興奮する傾向があるため、KAMADA に対面する際は無闇にシャツの第一ボタンを解放してはならない。万が一道端で KAMADA に遭遇した場合、無理に応戦せずゴーヤとメロンを投げつけることを強く推奨する。

統制 兼 会計

齊藤 健人



統制に礼儀など要らぬ! 南斗六聖拳「凶星」の男。南斗 108 派の中で最強の無礼を誇る南斗粗相拳の使い手。南斗粗相拳は南斗聖拳で唯一、一子相伝の拳法。最強ゆえ流派の構えが無く、北斗神拳にも匹敵する力を持つ。自ら「統制」を名乗り統制軍を結成し、覇権争奪に名乗りを上げる。従順な子供(荒川と上橋)を(色んな意味で)奴隷化して巨大なピラミッド「統制十字陵」を造らせ夕食に強制的に連れ回した。だが、その本質は最も愛深き哀しき男であった。

(怒られても)退かぬ!! (先輩に)媚びぬ!! (粗相をしても)省みぬ!!

通常の人間と思考回路が逆なため彼に致命の言葉を突き入れることは出来ない。

主務 兼 企画

木野 唯可



とにかく S 藤と周波数が合わない。一度会話を始めるもお互いにこの声はとどかず、ノイズ音が入り、通訳なしでは成立しない。

木野はスイーツが大好き。普段は I 手口に「不満顔」と罵られるもスイーツとなると(\*´ω`)こうなる。かわいい(\*´) 俗世では最も好きな食べ物であるらしい。

木野は手段を選ばない。運転をさせれば左車線の善良な市民の車に突撃していく。後ろに乗せれば癒しの曲を流し、運転手を眠らせようとする。全ては他の幹部を抹殺するためである。酒を飲めば「破あああ!」と叫び、首根っこを思い切りつかみ、殴る、蹴るなどの制裁を加える。

寺生まれってスゴイ。毎度被害者となる I と S を見ながら改めてそう思った。

## 二回生紹介

### 山田 雄太

となりの席の山田くんは、見た目は野獣だけど実は中身は王子様である。彼は呪いを解いてくれる美女をずっと待っているのだ。でもなかなか現れないねえ山田くん。それはさておき、山田の合気道に対する意気込みはハンパではない。道場の中で一緒にいると気迫で吹き飛ばされそうになるほどである。ちなみに山田の戦闘力は 53 万です。これからの山田の変身に期待したいと思います。元気があれば何でも出来る。イチ、二、山、田ー！

### 荒川 拓登

最近、急成長中ともしばら噂の彼がそう…荒川拓登である。「細い」「薄い」「長い」を連想させるスレンダーな彼だが、宴会の席では文字通り浴びるようにビールを飲み、焼酎はロックと決め込み、見た目とは裏腹に力強さを感じさせてくれる存在に成りつつある。そんな彼曰く、ファンであり尊敬する Gackt の様に自分の事を Tackt と呼んで欲しいとのことだ。彼が Tackt の名に相応しくなるのもそう遠くないかもしれない…

### 堀之内 里美

彼女の1日は NHK に始まり NHK に終わる。しかし浮気は付き物で、たまに戦隊モノやプリキュアなどが混入する。また彼女はゲームも得意である。今のブームはポケモンだそうで、合宿から帰った日に全クリしたと誇らしげであった。現実と同様、ゲームの世界でも男女の絡みが大好物で、いろんなカップルを成立させるためにゲームをしているのは、公然の秘密である。おっさんと幼女の組合せてイイよね♡  
ところで彼女がインドア派ではなく、散歩が趣味であることを知っている人はいるのだろうか。

### 前田 夢依

クモは嫌いだがムカデは平気。足の数が多い方がタイプらしい。でも一番好きなのはパルチスタンコミットビネズミ。いつも何かしら考えているようでいて、実は車のナンバープレートを観察している。最近、デジカメの SD カードの容量の小ささに腹をたてていたが、部員の目の前で堂々と隠し撮りすることで気を紛らわしていた。彼女のことを「夢依ちゃん」と呼ぶと怒られるが、二回生の中には怒られたいがためにそう呼ぶ猛者もいる。



保険調剤

## 参 道 薬 局

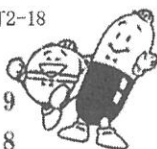
営業時間 平日：午前8：30～午後6：00

土曜：午前8：30～午後1：00

熊本市中央区北千反畑町2-18

TEL (096) 344-8899

FAX (096) 344-8558



## hair mode RITZ

体育会特典実施店

6-1-27 kurokami kumamotoshi  
tel 096-343-9302



### WHITE COSMOS

〒860-0862  
熊本市中央区黒髪2丁目18-2  
TEL・FAX 096-341-2622



works

花束・アレンジメント  
ブライダル装花・ブーケ  
ブリザードフラワー  
慶弔用スタンド  
観葉植物

■営業時間 月～土/9:30am～7:00pm  
日・祝/9:30am～9:00pm

自転車生活応援店



〒860-0854 熊本市中央区東子飼町  
(子飼商店街内) TEL/FAX 096-343-2800  
<http://www.popkurematsu.com/>  
✉ info@popkurematsu.com

代表  
久連松啓吾  
090-9077-1755



### 仁誠会クリニック黒髪

内科・腎臓内科（人工透析）

医療法人 社団  
仁誠会

院長 田尻 哲也

〒860-0862 熊本市中央区黒髪6丁目29番37号  
Tel.096・345・6533 Fax.096・346・3388



創業明治十年

宴会・弁当（御予約のみ）  
手打ちそば・うどん・丼物

広町 **山本屋**  
YAMAMOTOYA

〒860-0848 熊本市中央区南坪井町7番10号  
TEL(096)352-2900  
FAX(096)352-2927



FUJISAKIGU mae  
MENTAL CLINIC

診療科目 : 心療内科・精神科

TEL : 096-341-0017

URL : [fujisakigumae.jp](http://fujisakigumae.jp)

## 藤崎宮前心療クリニック

## 一回生紹介

### 安本 彩乃

氏名:安本 彩乃 属性:猫・法学生 性別:女 趣味:幼児観察(※注)健全な意味で。

特技:エチュード(小芝居)で男子を演らせたら右に出る者は多分いない。

長所・短所:海が苦手。水溜まりも苦手。しかし同輩のためなら、ネコカフェ行きを蹴ってまで天草の海について来る、優しい心と勇気の持ち主。

備考:一過性驚愕性飛び上がり症候群を罹(かか)えており、後ろから近づく際には注意が必要。

### 上橋 壮太

一回生で唯一の男子

一番の癒しキャラで合気道部のアイドル的存在

チャームポイントのぷよぷよお腹はみんなによくいじられるがいつも笑顔で対応してくれる心の広い優しい人  
しかし…その愛くるしさゆえに S 藤先輩が彼の虜になったのは周知の事実…

### 西村 衣未

一言で言えばツンデレ女子。もう一言付け加えるならば、ツン:デレ=9:1のスーパーツンデレガール。彼女のデレを見た人は、もれなく幸せになれるというジンクスがあるとかないとか。

そんな彼女も医者卵。「筋肉痛が～」なんて言えば、そこからは西村's メディカル☆ワールドが始まるだろう。でも内容が高度すぎてみんなついていけないよ、エミリー！

### 松本茉莉花

～松本茉莉花のとある休日～

6:00 起床 休日といえど茉莉花の朝は早い。

6:30 犬の散歩 愛犬の散歩は決して欠かさない。彼女の犬への愛は尽きることはないが、犬が彼女の愛を理解する日は来るのだろうか。

7:30 朝食 食事中はおとなしい。ほとんどしゃべりません。

8:00 以降 2時間おきに犬の散歩をする。犬への好感度を上げるためには努力を惜しみません。  
その他もろもろあり

24:00 就寝

そしてまた茉莉花の1日は始まる…

(注:これはS太の勝手な想像です。そのの所はわきまえて置いて下さい。)

### 水田加奈子

爽やかな風をまといアフタヌーンティーを嗜む彼女こそ、現世の大和撫子、水田加奈子である。

その麗しき容姿からは想像も出来ない様な爆弾発言で周りを凍りつかせるのを趣味とする彼女は始終ツンデレ的妄想に捕らわれている。

所謂変態。変態淑女。萌の塊。



安本

松本

上橋

西村

水田

さらに「美味しいホテル」をめざします。



**熊本ホテルキャッスル**

〒860-8565 熊本市中央区城東町4-2 TEL096-326-3311(代)

1934~  
kumamoto

紅  
蘭  
亭

096-352-7177  
<http://www.kourantei.com>

**Vavi**  
Hair Design

〒860-0851 熊本市中央区子飼本町6番30号

TEL/FAX 096-288-1439

＜営業時間＞ 平日/10:00~20:00 日曜・祝日/10:00~19:00

＜定休日＞ 毎月月曜日・第1日曜日・第3火曜日

カップ・トロフィー・楯・優勝旗・校旗・メダルなど  
ハイセンスな贈り物に最適な商品を  
豊富に取りそろえております。  
各種催しにぜひご利用ください。

記念品・賞品贈答品のデパート



**佐藤商会**

〒862-0971 熊本市中央区大江1丁目26-15

☎096(372)3100(代)・FAX 096(372)8476

※駐車場完備



kiraku kitchen

きらくり

黒髪5丁目4-55

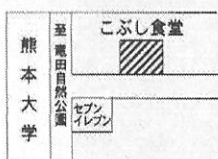
各種宴会、パーティーにあった個室もありますので  
お気軽にご相談ください。

貸切60名様までOK!

【営業時間】 18:00～翌2:00

【TEL】 343-6165

## こぶし食堂



営業時間

昼 11:30～2:30

夕方 6:00～10:00 まで

メニュー各種

¥400ヨリ ¥600マデ

電話番号

096-345-9871



医療法人社団) こぶし小島会

## 小島内科小児科医院

URL: <http://www.kobusikojimakai.dr-clinic.jp>

熊本市中央区霧山5丁目25-27

TEL 096-381-9852

Fax 096-381-9493



## PHOTO STUDIO

- ご婚礼 ●成人式
- 家族写真 ●各種証明写真 ●出張写真

TSUKASA

写真の司

〒860-0862 熊本市中央区黒髪3丁目6-18

Tel: 096-343-8136 Fax: 096-343-8199

ルーテル学院通り・建吉組となり

## 学生パックでお得にボウリング!



日曜・祝日もOKだし  
雨の日だってスポーツなら平気!

★10名様以上の団体予約対象

2G+貸靴 全てコミで  
+イベント お1人様

1,000円 (税込)

さらにお得な情報!

参加人数の3分の2以上が  
学生の場合、同伴の大人の  
皆さんも1,000円でOK!

スポーツ熊本 大剣ビル4F

ご予約・お問合せ

096-326-1170

毎日朝6時まで営業!



## ～合氣道部の一年間～

|    |         |    |       |    |       |    |     |    |     |    |     |     |      |    |         |    |      |    |                    |
|----|---------|----|-------|----|-------|----|-----|----|-----|----|-----|-----|------|----|---------|----|------|----|--------------------|
| 四月 | サークルロード | 五月 | 五大学総体 | 六月 | 新歓コンパ | 八月 | 夏合宿 | 九月 | 袴祝い | 十月 | 定期戦 | 十一月 | 演武大会 | 一月 | 追い出しコンパ | 二月 | 九連合宿 | 三月 | 春合宿<br>卒業式<br>幹部交代 |
|----|---------|----|-------|----|-------|----|-----|----|-----|----|-----|-----|------|----|---------|----|------|----|--------------------|



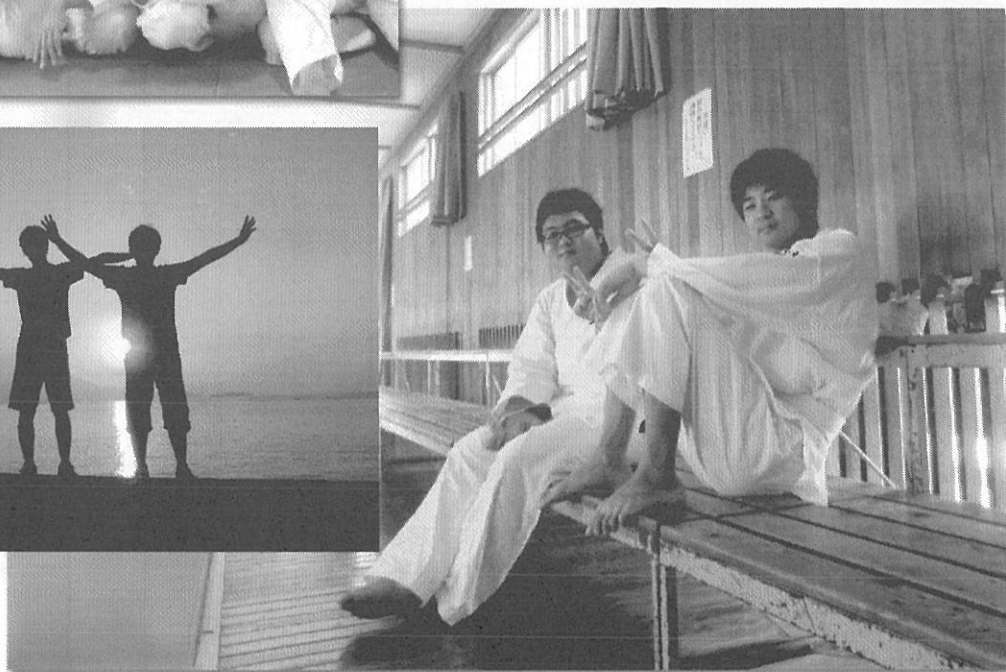
## 部誌より

- ◆ 光の森にけっこう行くのでみんな来ないでください。  
井手口 貴弘
- ◆ 部誌が大キライです。  
録田 愛美
- ◆ 今はみんなにやさしくしてるけどふだんはめっちゃ怖いからね。  
齊藤 健人
- ◆ 好きな人；高い日本語運用能力を有する人。学識経験者。  
西村 衣未
- ◆ 自転車こいでたらズボンのファスナー全開だった。  
木野 唯可
- ◆ ・性格・特徴…ビビリ ・ニガテ…海中（原因は不明）  
安本 彩乃
- ◆ こんにちは。友達が少ないことで有名な上橋です。  
上橋 壮太
- ◆ うちの犬、投げキッスすると上目遣いでにらんでくるんです。超絶かわいいです。  
松本 茉莉花
- ◆ 毎週実験のレポートに殺意を覚えながら日々奮闘している。(・ω・')キリッ  
山田 雄太
- ◆ なんか山田が僕の部屋のドアポストに部誌を投函していったみたいなので、  
仕方ないから書きたいと思います。  
荒川 拓登
- ◆ 二回生の清涼剤、堀之内です。  
堀之内 里美
- ◆ 嫌いなもの：騒音（特に深夜のバイクはローブ張って転ばせたくります）  
前田 夢依
- ◆ 高校の時ハムスターに指を噛まれて甚だしく出血。  
翌朝そのハムスター死んでたんだけど私の血に何かヤバイものでも入ってたのか。  
木野 唯可
- ◆ 折角マウスの肝臓を使うなら、  
割腹して引きずり出すところからやらせていただけると有難いんですけど。  
西村 衣未
- ◆ この間弟に「汗で前髪が雨にうたれたみたいになったよ！見てー！」と笑顔で言ったら  
真顔で「坊主をおすすめするよ」と返されました。奴は坊主の姉がほしいのでしょうか。  
水田 加奈子
- ◆ 先月、風呂場から出られなくなりました。ドアノブが壊れたらしく中から開きません。  
全裸です。携帯もありません。  
荒川 拓登
- ◆ 母に「かめはめ波の撃ち方を教えてくれ」と言われました。  
堀之内 里美
- ◆ 姉の威厳はどこで買えるのか教えてください。ハンズマンですか？  
前田 夢依
- ◆ 俺の反抗期に勝てる奴いんの？  
井手口 貴弘

## 夏合宿 2012 in 鹿児島

- 
- ◆ 夏合宿始まった。誰かコントローラー持ってこいよ。  
井手口 貴弘
- 
- ◆ 嫌いなもの：片側三車線と信号機と S 藤。  
木野 唯可
- 
- ◆ 高速でバスにおいてかれてヒッチハイクした。  
荒川 拓登
- 
- ◆ 50 代のみんなに出会えてよかった(棒読み)  
鎌田 愛美
- 
- ◆ バスの前の人の香水がきつかったのと運転手さんがイケメンだった(名前だけ)  
堀之内 里美
- 
- ◆ 夏合宿ももう終盤にさしかかりました。(初日)  
鎌田 愛美
- 
- ◆ もう筋肉痛になったわ。かわいくない。  
井手口 貴弘
- 
- ◆ 何か今、腹筋が痛いなぁと思ったら、腰も痛いです。わーい！  
松本 茉莉花
- 
- ◆ 食欲がわきません。食事好きなのに。  
安本 彩乃
- 
- ◆ なみだちょちょぎれる一日でした。オーマイ。  
水田 加奈子
- 
- ◆ 今日は空がきれいでした。  
安本 彩乃
- 
- ◆ アクエリアスでどこまで酔えるのか… (自分に)  
山田 雄太
- 
- ◆ スクール水着はまずいと思います。  
堀之内 里美
- 
- ◆ ブルータス、お前もか。(produced by 山田)  
前田 夢依
- 
- ◆ この流れで何を書けと。  
西村 衣未
- 
- ◆ 今日ハタチ。  
上橋 壮太
- 
- ◆ 井手口 - 適当 = 無口  
鎌田 愛美
- 
- ◆ 周波数が合わない。  
木野 唯可
- 
- ◆ 途中下車、戦線離脱、不可抗力。せめて明日まで居たかったのです。  
西村 衣未
- 
- ◆ きをつけた姿勢で寝て、きをつけた姿勢のまま起きます。つまり、不動！  
水田 加奈子
- 
- ◆ 現在ダイエーのポイント 461  
上橋 壮太
-

# 写真館



## 万生館入門から熊大合気道部創立迄の経緯（回顧録Ⅰ）

初代 竹下和秀

熊大合気道部創立五十周年、おめでとうございます。

創立以来五十年、ここまで、続けてこられたのは、顧問の長谷先生、万生館の砂泊先生、各歴代の合気道部の主将、役員、部員の皆様方が力を合わせて引き継いでこられたからだと思います。

さて、五十周年のこの機会に熊大合気道部創立にご援助や支援をして頂いた先生方、友人、又、私の万生館での稽古を指導して下さい下さった方々との当時の関わりを書き記し（と申しても私の友人を除いて殆どの方はもう冥界へ行ってしまわれましたので）、此处に記録として残して、ご恩に報いたいと思います。

### ○ 万生館への入門

私の万生館入門は昭和三十五年五月四日と成っています。

この日の前日（五月三日）休日だったので、工業化学の同級生福井正弘君と上通りの古本屋、後に火災で消失した大洋デパートや鶴屋デパート等をぶらぶら歩いて観て廻っていた。「合気道」屋デパートの前の手取り神社の歩道まで来た時、福井君があれは何だと足を止めた。「合気道」と書かれた立看板が置かれていたのである。私は前年の一年生の時からこの看板を幾度と無く此処を通る度に見ていたのであるが、神社の前に出ていたので、多分、宗教団体が何かの看板であろうと思ってあまり気にも留めて居なかった。好奇心の強い福井君は中に入ってしまったのか聞いてみようと思いを引張って万生館の中に入ってしまったのである。丁度、角田光雄（つのだみつお）さんがいらつしやつて、「合気道とは」植芝盛平と言う人が武士の柔術の諸流を取り入れて編み出された武道だと教えてくれた。奇遇と言えは全くの奇遇だ。福井君と一緒に無ければ、合気道の何たるかも知らず大学四年間を過ごしていただろうし、休日でもあるのにわざわざ万生館の戸があいていて角田さんが居らしたのも奇遇だといえる。この時の角田さんの話では熊大の学生は一名ほど合気道をやっていたが今は卒業して居ない。但し熊大の小山先生と高浜先生が道場に来て稽古をしておられるとの事で有った。角田さんが「どうです。入門して稽古して見ませんか？」と言われて、福井君が「どうだ、入って一緒に稽古して見ないかと？」と私に向かって聞いて来た時には吃驚した。私は福井君が単なる興味だけで質問をしているのだとばかり思っ、角田さんと福井君のやり取りを黙って聞いていたのであるが、一緒に入門しようといわれて魂が飛んでしまった。しかし角田さんが女性も数名来て稽古していますよと言われて、それなら私だって置れるかなと思っ、と言った。と言ったのは、私は子供のころ東京空襲を避けて父親の里に疎開していたのであるが、その日を食べて行くのもやつの食糧不足にあい、その上、神経質だった私は匂いのする肉や魚が食べられないで栄養失調を起して小学二、三年生の頃身体検査で学校の校医が「おお！」と驚くほど痩せこけ、あばら骨が出ているような子供だったのである。勿論、中学校、高校と進学するにつれて、栄養失調は解消したが、其れが原因で体力には自信が無く、恐らく自分の体力は女性並だと思っ、いたのである。だから大学在学中に身体を鍛錬をして、何とか一人前に社会に出て働けるようにして置きたいと

常々考えていた。角田さんと福井君から誘われた時、始めは躊躇したが身体を鍛錬が出来、その上武術の習得が出来るのであれば、此れは悪い話では無いなあと思っ、其の氣にさせられて、兎に角、一度稽古風景をみせて貰ってから入門しようと言っ、翌日の夜の稽古を見学した後入門の手続きをした。

角田さんが付ききりで私と福井君を指導してくれたお陰で、一週間ぐらい経つと前受身、後受身が出来ようようになった。其れと同時に、砂泊先生が皆の前で一技毎に模範演技をされると、角田さんはあはするのですよ、こうするのだと私達の傍で技の掛け方を教えてくれた。所が、2週間も経たないうちに福井君は痛みから止めると言っ止めてしまった。彼は柔術は柔道の様なものだと言っ、稽古に考えていたようだ。合気道では一技、一技毎に関節技が入っ、締め付けられるものだから、音を上げたらしい、此れには私は困っ、しまった。入ろう！入会しようと思っ、たのは彼の方ではないか、其れがこうも簡単に止めてしまおうとは？私はいくつかと随分迷っ、たが、身体を鍛錬したいと思っ、角田さん、角田さんが真面目に稽古に出席し、進級させてあげますよと言っ言葉と、事実、角田さんは新人の教育係の担当だったらしい、私が道場に行くたびに親切に技の指導をしてくれ、又更に良かった事は、万生館の合気道は、一技毎に稽古に取り組む相手が替わったことである。だから、初心者教える熟練者、有段者にしてもあまり負担にならない事であった。

当時、万生館の高弟であった戸田さんは、私に教えるときは何時も「ホー！ホー！」と道場いっぱいに関こえるような大きな声を出しながら教えてくれた。（因みに、熊本井の「ホー！ホー！」は「ほら！ほら！」と言っ意味であるのであつて、福岡県から来た私には鼻が鳴いていようだなあ？と可笑しかったが、にやにや笑っていると、何だこいつはと、打つ叩かれそうなので、真剣な顔をして戸田さんの指導を受けたものである。

### ○ 角田さんとは

角田光男さんは当時万生館の裏側に万生館の廂を借りるようになり、二、三畳ぐらいの広さの掘っ立て小屋を建てて住んで居られた。第二次大戦の時は海軍で炊事係りをしておられたそうである。歳は45、50ぐらい、頭の天辺は少し禿げて居られ、身長は155、160センチぐらいで、体型は、ビル梅は中央辺りが膨らんでいるが、角田さんの場合は底の方へ行くほど真ん丸く膨らんで、足は戦前の日本人に有る様な典型的な短足、肩から出た両腕は太く私の腕の二倍はあるかと思われたが、どう言う訳か、両手は私の掌よりも小さく、赤ん坊の手のひらよりも少しばかり大きい、再、再私に「手を握られたら、直ぐに手を開くのですよ。」と両腕を前に突き出しながら掌を開いて見せてくれたが、其の度に、紅葉の様な可愛い掌をして居られるのだと感じた。私は角田さんを見て、帝國海軍は良く人を見て採用していたのだなあ！この体型であれば艦が日本海の荒波にどう揺れられても、絶対転ぶ事無く、真つ直ぐ歩く事が出来る体型だなあ！と感心もした。角田さんは私が朝稽古に代わってから稽古が終つて、着替えをしていようと「私の部屋に寄つていませるか？」と誘っ、角田さんの所に行くくと紅茶を金網の茶漉しでこして入れてくれて、「さあ砂糖を入れなさい」と奨めてくれたものである。甘い紅茶は朝稽古で疲れた身体には元氣回復になり、大変助かった。また、この年齢の方が紅茶を飲まれているなんて、流石に角田さんは元海軍に居られた方なんだと思っ、たもので有る。

## ○ 朝稽古への変更

入門してから約三ヶ月は夜の稽古時間に出て練習していたが、その間、鉄道高校の井上幹雄君や高校生ぐらいの日浦君達が入門してきた。彼らは若かった所為か元気が好く、私より後から入門したのにも拘らず、あつという間に私を追い越してうまくなつて行つた。此れではないかと私にも欲が出て、今まで夜だけ出席していたのを、中古の自転車を買つて朝の稽古に出るようにし、時間があれば昼の稽古、或は夜の稽古と一日二回道場に通つて稽古するように変わった。朝稽古に出席して見て、初めて薬学部教授の小山鷹二先生が出席して稽古して居られるのを見た。この時私は小山先生に多分、直接挨拶しなかつたのではないかと思われる。角田さんに「あの方が熊大の先生ですよ」と言われて私は「はあ？」とぼんやり小山先生の方を眺めていたし、角田さんが私を小山先生に「熊大の学生ですよ」と引き合わせてくれなかつたので、先生の方でも特に私を熊大生とは気づいて居られなかつたのでは無からうか？ この時、小山先生はとつと昇段されて有段者の袴を着て居られたのである。当時、私は済済養高校と武夫原を分ける小道の突き当たりの丁字路を右に曲がって二軒めの高木さんの家の離れに下宿していたので、自転車飛ばして手取神社まで、毎朝着くのに、十五分は有に掛かつた。

## ○ 朝稽古出席者の数

夜の稽古の時間には戸田さんや富田さん等中年の錚錚たる有段者が出来来られていたが、朝稽古には、小山先生みたいな年配（55歳以上）の方達三、四人、山部さん、それに頭髪を短く刈り込みさんば髪で髭の剃り跡は濃い長身の熊鷹みたいなやまあらし氏等34、45歳ぐらいの中年の人達が二、三人、30、40歳ぐらいの女性が数人、私や商大生が二人、井上君のような高校生、鎮西高校や熊本工業高校生が四人程度居たので全部で十三、十四人程度だったように思う。

## ○ 砂泊先生の朝のスピーチ

私が入門した当時、砂泊先生はもう既に44、45歳を越しておられたのではなからうか？ 最も先生は骨太で髪は何時もモマードで真後ろに撫で付けて居られたので、老けて見えて、実際にはもつと、お若かつたのかもしれない。先生は毎朝、神棚に参拝した後、皆に向き直つて、前日の出来事やお気づきになつた事等を五分間ぐらいの短いスピーチ（お話）をされていく。例えばこの様な風に「万生館の玄関から入つて来たら、必ず向きを入り口の方に変えて玄関を上がり靴を揃えて下駄箱に入れない。そうすれば、後を付けられて来ても直ぐに判るし、後からばつさり切られることも無い。」又有る時は「侍が殿様に呼ばれてお城に登城して、次の間から殿様に、ご挨拶する際には、必ず境目の櫓の敷居に扇子を置いて、殿に挨拶をした。此れは境目の敷居上に顔を出して挨拶をした時、両側の櫓を閉められて首を挟まれて切り落とされない為の用心である。」この様なスピーチは先生が若い我々学生や高校生に對して、武道を稽古する者は日頃からそれなりに身の回りの注意を怠り無く身に付けて置かなければ、いけないよと諭して居られたのであるが、年配の小山先生達には酷く不評で、この日は特に小山先生の虫の居所が悪かつたのか、砂泊先生が着替えて道場を退出された後、同じ年配の出口さんと道場の畳の上で立膝して袴を折り畳みながら、「そんな事は、判つちよる。つまらん講釈なんか言つ

てないでさつと稽古に入ればいいのに、我々は先生の講釈を聞きに来たのではない。」と大変なお冠であつた。どうも小山先生は砂泊先生のスピーチがまともに自分に向けられたものと、正直に聞いてしまつたらしい。45歳の人が社会的地位も有り物の道理を十二分に心得て、しかも十歳も年上の老人に、お行儀良くせよとか日頃の振る舞いを注意せよと言はずが無い、あれは、若い者に向けられた言葉だと思ひ流しておけばいいのに、意外と小山先生は神経質な所がお有りになるんだなと思つた事である。この砂泊先生の毎日の短いお話は、先生獨特のもので、私が学校を卒業して、名古屋の田代道場、千葉の稲毛道場更には開祖のご子息の植芝吉祥丸先生がやつておられる新宿の本部道場に数度出席して稽古をする機会があつたが、いずれの道場でも師範の先生方は神棚に参拝した後は直ぐに合気道の準備体操をし何もお話は無く、直ぐに合気道の技の模範演技に入つた。万生館方式に慣れた親しんだ私には「あれれ！何か省略しちやつたのではないの？」と感じられて、物足らなかつた。

## ○ 顧問になつて戴いた小山教授と出口老人

出口老人は背丈が一七五―一八〇センチぐらいお有りになつただろうか？ 身体が大柄で色白、お腹が前に突き出たので七福神の布袋さんにそっくりだつた。水前寺かあの辺りの商家の社長さんの様にお見受けした。此れに反して小山先生は背丈は出口老人とほぼ同じ高さであつたが少し痩せた体型をされていく。ところが小山先生と出口老人は、余程、馬が合うのか、何時も稽古の終つた後、二人お揃いで、畳に腰を落として袴を折畳みながら、世間話をされていくのである。在る時はこうで有る。一葉学部の学生の男女がお互いに好きになつて結婚しようと言ふ事になった。しかし両親に反対されてしまつた。困つた男子の学生は、小山先生に、何とか女学生の親に結婚を承諾してくれる様に説得に行つてもらえないでしょうかと泣き付いた。「小山先生は女学生の両親が住む鹿児島へ行つて、父親に「娘さんは大学を卒業後どうなされますか？」と先ず話を切り出した。所が、女学生の父親は「娘は立派に卒業させます。卒業後はこちら（鹿児島）でよい婿を探して結婚させます。」と言われてしまつた。そう言われてしまうと小山先生は、「実は娘さんには好きな相手が居まして」となかなか切り出せない。「貴方は娘の一体誰なんだ」と言われそうで困つた。と出口老人に愚痴をこぼして居られた。戦後、男女交際は自由になつたとはいへ、まだまだ、古い因習の残つてゐる辺境の鹿児島に行つて、自分の教え子の為とはいへ、ご苦労をされてゐるのだなあ？ 成程、先生の合気道修業は学内では誰にも打ち明けられないストレスをこの道場に来て出口老人に聞いて貰ふ事によつて、解消されているのだなあ気が付いた。又有るとき出口老人は小山先生に向かつて、こんな話をしておられた。「水前寺か何処かの近くに、肥後ズイキ」を売つてゐる店がありましてねえ」と老人が話を始めた。私は別に盗み聞きをする心算は無かつたのであるが、老人の「肥後ズイキ」と言う聞き慣れない言葉に思ふ耳を傍立てて仕舞つた。「個室が有りましてねえ、ちゃんとサイズを合わせてくれるんですよ。」と老人は言つた。小山先生は「ふん！ふん！」と学者の興味からか神妙な顔をして、感心したように聞いておられた。私はこのときの単語の意味が解らず、老人二人が妙な話をしてゐるわいと聞き流してゐたが、ずうと後になつて雑誌を見ていたら、広告にこの単語を発見し意味が解つた。あの時の両老人の顔を思い出して大笑いをしてしまつた。

○ 合気道開祖 植芝盛平翁、来熊

私が、入門して約六カ月も経った頃であらうか、開祖、植芝盛平翁が内弟子の千葉さんおおよび砂泊先生のお姉さんを伴って万生館においでに成った。この時先生のお姉さんはシックな紫のワンピースを着ておられ、砂泊先生よりももつと骨太に見えたので、(おや！お姉さんも新宿の本部で合気道を稽古しておられるのかなあ?) と思った。盛平翁は、お歳がもう既に75、76を越して居られ、小柄、一五センチぐらいであつたが眼光が炯炯と鋭い方であつた。紋付袴の翁と千葉さんは先ず、私達万生館の門人が座っている右手前に対面する格好でお座りになり、砂泊先生が翁や千葉さんを紹介された後直ぐに立ち上がって千葉さんと共に更衣室へ稽古着に着替えに行かれた。私は翁が始めて道場に來てお座りに成った時、合気道について何か私達にお話をされるのかなあと期待して待っていたのであるが、翁は何にもお話しやらなかった。翁が山部さんを指し招いて立ち技の呼吸法で、右手を出して山部さんに手首を握らせ体を一八〇度捌きながら前方へ相手を導く、この演技をされたのであつたが、手首を取らせてからの動作があまりにも速かつたので、山部さんは「おっと」と「みたいな事に成ってしまった。其処で翁は、頑強な高段者のやまあらし氏に換えて、呼吸法の同じ演技をされたが、矢張り翁の動作に付いていけなかつた。仕方が無いので、翁は内弟子の千葉さんを指し招いて演技を続けられたのである。私達の前で入り身投げを、千葉さん相手に披露していただいたが、兎に角、翁の動きが早い、それに、我々のように相手を切り下ろしてからぐるぐる廻るのではなく、切り下ろしてから相手の背面に入つたと思つた瞬間にはもう投げ飛ばしておられた。

この時分、私は未だ合気道の技を齎り掛けて、何故、高段者の山部さんややまあらし氏が翁の技に付いていけなかつたのか解らなかつた。翁や千葉さんが退出された後、砂泊先生は山部さんややまあらし氏に向かつて、「何で付いていけなかつた?」と不満げに小言を言っておられた。先生がこんな態度を示されるのは珍しい、先生は滅多に、弟子に面と向かつて小言を言われる事は今まで無かつた。先生は多分、開祖やお姉さんに熊本でも立派に合気道をやる門弟が育っていますよと見せたかつたに違いない。

○ 社会党 浅沼稻次郎党首暗殺事件

昭和三十五年十月十二日東京日比谷公会堂の演壇で演説中の浅沼稻次郎は右翼の少年に襲われて、出血多量で死亡した。(刃渡り34センチの脇差しを両手で水平にびつたりと腹につけたまま右翼の少年が演説中の浅沼稻次郎めがけて体当たりをして行つたのである。) この場面の映像はその日何回も、何回も繰り返しテレビのニュースで流され大変ショッキングな事件であつた。翌日、朝のスピーチで砂泊先生は「非常に残念な事である。若し浅沼稻次郎に武道の心得が有つたら、例え傷を受けたとしても、致命傷になつて命を落とすような事は無かつただろう。腕一本で防げたんだ」と言つて、立つたまま両足を開いて踏ん張り、左手を真横に少しくの字に曲げながら下から暴漢を突き上げるような態勢を、座つて聞いて居る我々門弟に示されたのである。成程、私も自分が合気道を学んでいる事が満更無駄な事をして居るのでは無いと強く感じて更に稽古に磨きが入るようになった。

○ ホットケーキ

砂泊先生は三味線のお師匠さんのお宅に下宿して住まわれていた。

或る時、このお師匠さん、女性(多分40、45歳ぐらいに成られていたのではなからうか?)と小手返しの技を稽古していたとき、小手返しで彼女を投げて最後の左手または右手だったかも知れないが私の膝のところに付いて関節技を効かしていたが、この女性、手首を内側に曲げてきかしても効いたと言う傲の量をボンボンと叩いてくれない。このお師匠さんは私が入門する以前からずいぶん稽古されていてかなりの熟練者なので、少し関節を内側に曲げこんだらいいは効かないのかなあと思つてちよつと力を入れてきゅうと攻めた。そうしたら、慌ててボンボンと言う返事が返ってきた。ああ良かった、やつと効いたのかなとほつとした。翌日、朝稽古に出て行くと、先生が何時ものスピーチで関節技をやる時は徐々々に力を入れていかなければならない。急に、きゅつといっぺんに力を入れると筋を痛めるよと注意されていた。先生は何時もそうなのであるが、名指で誰が悪いと言う様な話し方はされない。だから、私は、誰か下手糞な奴が居るんだなあ? と他人事みたいに先生の注意を聞き流していた。所が稽古中、何気なくお師匠さんの方に眼をやると、お師匠さんは左手首に白い包帯を巻いていたのである。仕舞つた、あれは私の事を言つて居られたのだなあ気が付いた。お師匠さんに「すみません」と謝ろうかなとも思つたのであるが、包帯は巻いていても稽古に参加されているし、それに此れは稽古中の怪我なので、いちいち謝つていたらきりが無いと考へて、知らぬ顔をした。そんな事が有つて、二、三日経つた朝、稽古が終つて帰ろうと、着替えをしていると、砂泊先生が「おい！竹下君、朝飯は未だだらう?一緒に朝飯を食べないか?」と誘つて下さつた。私が入門して其れまでずっと、先生が弟子と一緒に朝飯に誘われるようなことは無かつたので、先生の現胆がよく判らず、「はあ?」と答へて、此れはお師匠さんが「私の手首を痛めた竹下さんはひどい人よ、私に全然謝りもしない」と告げ口されたか? 或は、人を傷つけたい平気な顔をしている竹下と言う男は一体どんな奴なのかなあ? 一回確かめて見ようと思つて誘われたのかなあ? と心の中で考へながら、先生の後にくっついて、鶴屋デパート一階の喫茶店に入つていつたのである。椅子に座ると先生は直ぐに「君！ホットケーキ食べるか?」とおつしやつた。私は「はあ」と答へたのであるが、この時までホットケーキなる物を食べた事が無く、当時としては珍しい食べ物であつたのである。おまけにナイフとフォークまで付いている。はあ、ホットケーキを食べるときはナイフとフォークを使うのかとこの時初めて知つた。この時このホットケーキに蜂蜜を付けて食べたのか、或は小さいマーガリンを乗せて融かして食べたのか覚えていない。ただこの時先生は器用にナイフとフォークを使いこなしてホットケーキを召し上がつておられたのである。そして先生は「今の政治家は目先の事ばかりしか考へていない。五十年先、百年先の事を考へて政治をやらなければ、駄目だ」とか、また、「チャンスは前髪だけしかない、此れはチャンスだと思つて掴もうとしても、もう遅いんだよ」とおつしやつていた。以前先生は朝の短いスピーチで「或る時、教授の娘さんと結婚式何かの折に同席した。その時その娘さんはぎつちよ(左手)に箸を持って食べていたので、大学教授と有ろう者が、全然自分の娘の教育を遣つていないな」と思つたとおつしやつていたので、先生はかなり考へ方が古い人かなあと思つていたのである。ナイフとフォークを持つて、ホットケーキを上手に食べているお姿を見て、流石は先生だ！青年時代東京で修業された方だ、新しい感覚を持つた方だなあ、この時、先生への見かたを一八〇度換えてしまつたのである。(此れは先生から美味しいホットケーキを著つてもらつたから、私の先生への見方がころつと変わった、買取されたとは今でも決して思つていないのである。) 私はこの時、先生のお話には「はあ！そう

ですわ」と答えながら、眼は、二段重ねで出て来たホットケーキを見て、右側から切るのか、それとも左側か、若しくは上に乗った一枚だけを半分カットすれば上手く食べられるのでは無かるうか?と考へて忙しかつたのである。しかし、何故私を朝食に誘つて頂いたのか?理由が良くわからなかつた。武道を遣つておられる先生が、毎朝ホットケーキを食されているわけが無い。先生は乾度、田舎からポット出の何処か掴みどころの無いこの若者なら、ホットケーキを喜ぶだろうと私の為に、わざわざ選ばれたに違いない。事実、私はこの喫茶店に入るとき、バターを塗つた、トーストか或は米のご飯と味噌汁に采の和食かと想像していたぐらいである。

#### ○ 上田君や富安君の入門

私が2級或は1級に進級した頃、やつと熊大生が万生館に入門して来た。其れが上田君(昭和三十六年四月二十二日入門)だつたし、上田君に続いて富安君も入門してきた。私の入門前から万生館に商大生はかなり居て、皆、1、2級か或は有段者であつた。出口老人の息子さん、出口二世は中でも飛びつきで、多分私よりは二歳ほど年上と思われたが、受身が非常に上手で、前受身で前に転がっても殆ど首を立てなかつたのである。商大生が絶えず道場に来て稽古していたにも拘らず、熊大生は1年余り誰も入門してこなかつた。上田君が入門後、彼は私と同じく朝稽古に出席していたので、道場で度々顔を合わせたが、富安君は夜の稽古の時間に出ていたのか、私が日中の稽古時間に出られないので、夜の時間に出た様なき、彼を見かけたのである。しかし稽古中は私語は禁止されているので、ただ顔を見るだけで、たまに座り技の呼吸法で彼と組む時、彼は其の時から少し太り気味で、多分65〜70kg、私は瘦せぎすで50kgそこそこ有つたから、座り技の呼吸法で両手の平で彼の両脇を押していくのであるが、なかなか動かず、やつと彼もお尻を後ろにずらして「よこらしよ」と後受身をする状態であつたから、やけに重たい後輩だなと思ひながら、富安君と稽古をしていたものである。

#### ○ 砂泊先生とダンス教室へ

入門から一年半ぐらい経た頃であらうかこの頃私は初段に昇進していたのであるが、昼の間、学校の授業が無いとき、万生館に行くと、井上幹雄君が居た。「こんな時間、君、鉄道高校じゃないのか?」と聞いたら、「いや、私は砂泊先生の内弟子になりました。」と返答されたので、驚いた。私が入門した頃、よく稽古に出られていた高弟の富田さんや戸田さんはどう云う訳か、もう道場には姿を見せないようになつてゐた。代つて、日浦君や井上君が内弟子となつて先生の模範演技の受身をやつていたのである。つまり、世代交代が道場で起こつていたのである。また、私や井上君を親切に指導してくださつた、角田さんも妹さんが東京に行かれるとかで出て行つてしまつたのである。寂しくなつた道場で昼の稽古が終つた後、日浦君、井上君と私が道場に残つて、三人で、井上君が花札と一枚の座布団を引つ張り出して来て、道場の真ん中に座つて、花札で遊んだ。と言つても私は花札を全く知ら無い。井上君が先生である。松、竹、梅には役が付くのですよとか、月見一杯、花見一杯と言ひながら、誰が一番役の付いた札を集められるかと遊んでいた。勿論三人とも文無しであるから、お金を掛けるような事はない。この時はただ集めて喜んでゐた。しかし此れが後で井上君にとって大変な事になるのである。

そんな折、砂泊先生が、「竹下君! 硬いばかりでは難だから、少し軟らかい事も遣れ」とおつしやつたのである。「なんですか?」と言うと、先生は「私について来なさい」と言われて、上通の喫茶店「フロインデ」の裏側に在つたダンスホールへ私を連れて行つて下さつた。このダンスホールは45〜50歳ぐらいの白いブリーツスカートの、すらりと長く伸びた両足はタイツスカートの、薄いこげ茶のブラウスを身に着けた美人のダンス教師とその旦那の夫婦が経営していた。所がその旦那ときたら、この美人の奥さんと全く不吊り合ひなのである。昨日まで百姓か、荒くれ作業をやつていたおつさんが、黒い背広を着込んで蝶ネクタイをしたような感じである。この旦那も、ダンス教師をやつていてブルースを踊る時は摺足でスロースローキック、キックと遣るので問題なかつたが、ルンバやジルバになると靴をガタガタ、ガタガタ鳴らすのである。初めの内はステップを覚えるのにこの音はステップに合つて良いなと思つたが、慣れるに付けこの教師と踊るとソンビが2匹、手を取り合つて踊つてゐるようで、嫌にならぬ、嫌だなあと感じるようになった。先生は入つていくと直ぐにこの美人教師と手を取り合つてブルースを一曲踊られたのである。先生はよほど以前から此処に来て、練習されてたのか、らくらくとブルースを踊られていた。一曲先生が踊り終わられた処で、「どうだ! 君も習つてみないか?」とその美人の教師を紹介してもらつた。その教師は「先ずステップから覚えなさい」と言つて正にくの字型に上半身は私から少し離し、下半身の腰、両太股(ふともも)をびたつと私の腰や両腿に付けてきたのである。私は女性から生まれて此れまで、こんなに太ももをくつつけられた事は無かつたので吃驚した。教師は「こうやつて腿で相手の腿を押して相手をリードするのよ」と言つた。なるほどこんなにびたりたり相手の腿にくつ付いていれば、自分の足の動きが相手へどの方向へ動くかとしてゐるのか直ぐに判り成程そうかと理解はしたのだが、私も当時は若い男だつた。こんなにびたりたり両腿をくつ付けてゐると、この女性の体温が薄いタイツや私の着ていたズボンを通して段々温かく伝つて来て妙な気持ちになつてしまふのである。私の背後からは砂泊先生が椅子に座つて、私とこの女性教師をじつと眺めて居られるし、私は踊りよりも段々妙な気分になつて来るので、困つてしまつた。思はずも、同じくしてゐるとこの教師は気配を察したのか私から離れて、「ちよつと一休みしましよ」と言つてくれたので、ほつと救われる思ひがした。先生に誘われて、この後も二、三回行つた様な気がする。美人の教師は指導が上手なのであるが、どうしても女性を意識してステップに集中出来ない。救われた事に其処には25〜26歳ぐらいの若い男性の研究生が居た。この人も女性教師同様、腰から上をくの字に折つて両腿はびたりと私の両腿にくつ付けて来た。今度は全く妙な気持ちに成らない。(尤も、ここで妙な気持が起るようだったら、私は完全な「ホモ」なんだが)ブルースのステップは簡単だつたので直ぐにマスターした。しかし曲を聴きながらこの研究生と踊つてゐるとステップと曲の流れがずれて巧く行かない。研究生がこの時ふと気が付いて教えてくれた。「あんた! ほら耳を澄ましてベースの音を聞いて見なさい。ほら、低い音でボン、ボン、ボンと響いて居るでしょ。あのベースに合わせるのですよ」と、確かに、耳を澄ませてよく聞くと、低い音で、ボン、ボン、ボンと一定のリズムでベースが鳴つてゐるのである。ああ、成程この音に合わせるのかと思つてこのベースに合わせてステップを踏んだら、曲と私のステップがぴったりと合う様になつた。こうなると面白くてしょうがない。もつと上手くなるろ、上手に踊ろうと私は合気道をそつちのけにして、砂泊先生に隠れてダンスホールに通つた。約一カ月も経つた頃で有るうか?少し上手に踊れるようになった所で、ふと、我に帰つた。

此処に連れて来てダンスを踊るように導いて下さったのは、砂泊先生である。先生や合気道をほったらかして、ダンスばかりに耽るのはいけぬ。其処で、早速翌日の朝稽古に出席した。先生は例の短いスピーチで「一度道を外れるとなかなか元へ戻れ無い者が居る」と渋いお顔をしておぼそとおっしゃったのである。私を除く多くの門人達には何の事やら謎めいたお言葉で有ったが、私には直ぐにびーんと来た、私がダンスホールに入り浸って稽古に出てこなかったのを暗に非難して居られたのである。私は他の門人に気付かれ無い様に神妙な顔をして先生のお言葉を聴いていたのである。其れにしても何故、先生にばれてしまったのか？先生に連れて行ってもらった翌日からびたつと万生館に姿を現さなかったのは拙い。それに先生に連れて行ってもらった同じダンスホールである美人の教師の前で毎日ダンスを練習していたのだから、「貴方が連れてきたあの学生は毎日此処に来て踊っていたわよ」と先生に簡答に報告されていたに違いない。此れは拙かったとダンスの練習を他のダンスホールへ変えた。(当時熊本市内にはダンスホールが三ヶ所有った。)其れから、私はもうダンスは止めましたよ、と言う顔をして毎日万生館の朝稽古に出席したのである。先生はそれ以降、もう、ダンスホールへ行くことと私をお誘いに成らなかった。

当時、私が学んでいた工業化学の教授や助教授の講義も良く理解できたし、工化科の同級生も皆、性格の良い者達だったし、合気道はそこそこ進めるようになっていた。ダンスもブルースからルンバ、マンボ、ジルバと学びワルツも少し踊れるようになっていた。最終的には、あのかつこ良く踊れるタンゴまで習いたいな。このまま行けば、正に、ルンルン気分で大四年を終える事が出来るのではないかと学生生活、最良の日々を送っていたのである。だが、このような楽しい日々はそう長くは続かず、あの惱ましい日々が直ぐ其処まで来ていたのである。

#### ○ ミス熊大生入門、続いて南大矢津さん登場

女性の熊大生、N嬢(野崎と言う姓ではなかったか？)どうも忘れてしまつて思い出さないので、勘弁してもらつて仮にN嬢としておく)が道場に入門してきたのは富安君が入門してからしばらく経っていた頃ではないだろうか？上田君だったか、井上君が「あの娘(こ)も熊大生ですよ」と私に耳打ちしてくれた。「へー！何学部？」と聞いたところ教育学部と教えてくれた。入門したばかりの頃は髪は長いままだったが、途中でパーマ(電髪)のちゆるちゆる頭に代わった。多分長髪では稽古に邪魔と思ったのだらう。だから、サザエさんみたいな頭になった。眼鼻口はサザエさんよりもっと真ん中に配置されていて、どちらかと言うと狭くしやな顔で可愛い顔をしていたように覚えている。しかし富安君に対してそうだった様に練習中、私語は出来ないしそれからと云つて彼女の所へわざわざ行つて、「教育学部の何年生ですか？」とか「宿は何処ですか？」とか聞くほどの社交性も勇氣も私は持ち合わせてはいなかった。確かに、道場にわざわざ合気道を習いに来る女学生は珍しい存在であつたが、熊大キャンパスに戻れば、女学生はあちら此方に散見されて見慣れていたもので、其の内の一人だろうと思つていなかったのである。彼女とは稽古時間が異なっていたのか、或は、あまり道場に稽古しに出て来ていなかったのか？あまり道場に顔を合わせることは無かった。一度か二度、彼女と組んで稽古をする機会が有つたが、若い女性の特有のぼつちやりした手の感触だった。今まで道場には女性も数人稽古に来ていたが、皆34〜35歳以上の入道だったので、Nさんの手のような柔らかでぼつちやりし感触は初めてで、ああやばり、若い女性は違うなと思つた。この後、

砂泊先生と彼女の出入について、大激論に成るのであるが、この時はそんな事に成るとは、思ひも及ばなかった。

Nさんが入門して来た頃であらうか？或は遡つて富安君が入門した頃だったかも知れないが、南大の矢津さんが入門してきた。私が万生館に入門して以来、初めて私より後に、南大から入門してきたのは矢津さんだけである。私の入門以前から南大生はかなりの数の人達が稽古に来ていて、彼等は皆、元気が良かったり、動きが俊敏で、運動神経の良い人達だったが、私を含め多くの学生がそうであつた様に、取付き難さ、つまりこちらから話しかけないと話しを切り出さない社交性の無さであつた。所が、矢津さんは誰彼構わず、にこにこして挨拶したり、話しかける。砂泊先生にさへ、二三年前から面識のある知人の如く話し掛けてこれまで道場で出会つた南大生には無い社交性抜群の人だった。但し、天は二物を与えずと言うのだらうか？彼の運動神経は私と同じくらいか、私より少しばかり良い程度だった。その彼が段々昇級して、1級か、或は初段に成つた時、突然、南大に合気道部を創りたいと砂泊先生に申し出したのである。私も以前、熊大には、柔道部や空手部が有るのに合気道部は無い、有つたら学内で稽古が出来て、わざわざ、遠く離れた手取り神社まで行く必要は無く便利だと思つた一方いや、合気道は護身術である、一般の柔道や空手とは違う、護身術であれば、町道場で秘かに稽古して習得しておくものであると思つていた。所が、砂泊先生は合気道は良い物である。良いものはどしどし世の中に普及させるべきであると朝のスピーチで言つておられて、この頃には福岡や鹿児島に万生館の支部をお造りになっていた。私は矢津さんが合気道部を創りたいと言っているのを遠目で眺めていて、「ほう！凄いな南大は合気道部を創るのか？流石は矢津さんだ。」と他人事のように眺めていた。此処までは全く私に実害も無く良かったのであるが、突然、砂泊先生が私の所へ飛んでこられて、「竹下君！矢津君は南大に合気道部を創るといつて居るが、熊大はどうするのだ？」と質問された。(砂泊先生は「チャンスは前髪だけしかない」とかねがね言つておられたので、矢津さんの発言を聞いて突然閃かれたのであらう。)他人事みたいに眺めていた熊大の穂先が、突然、反転して私めがけて飛んで来たので有る。私は仰天した。正に青天の霹靂だ。私はこの時直ぐに、(仮に熊大に合気道を創るとして、合気道を稽古する場所を、どう確保するのか？確かに教養部の所に畳敷の武道場は有るが、此処は既に柔道部や空手部が使用している。熊大には、はい！合気道部を創りました。はい！武道場を合気道部の為に空けてくださいと言つても、柔道部や空手部は既得権を盾にそう易々と貸してはくれないだらう。上田君、富安君それに私くらいに受身がある程度出来る者だったら武夫原のクローバーの芝生の上で受身をして、そう問題ないが、初心者では無理である。それに雨の日はどうするのだ？)と考えて、「うーん！」と返事につまっていたら、砂泊先生は「其れでは、上田君と相談して決め給え、明日までに返事を持って来給え」と言われてしまった。私は気が重かつた。今の儘でも毎日が楽しい学生生活である、四年生に成れば更に、卒業実験や卒業論文作成で今以上に忙しく成る。他の大学が合気道部を創るからと言つて、なにも真似をして我々の大学にも合気道部を創る必要なんか無いじゃないかと気分が乗らない。しかし砂泊先生が言われるので、一度上田君に相談してみようかと上田君に声を掛けた。「矢津さんが南大に合気道部を創つて居るが、熊大はどうしよう？彼は即座に「遣りましよう」と答えた。私は「あれ？」と思つたが、上田君は何事も、積極的な性質であるから、当然そう答えるだらう。じゃあ、もう一人、富安君が居るから、彼に聞いてみようかと富安君の所へ出かけた。私はこの時まで、熊大に

合気道部を創る事には消極的であつたから、富安君に「いや未だ熊大に合気道部を創るなんて時期尚早ですよ」と反対してくれるのを期待していたのかも知れない。しかし彼は憤ましく、「呼んで戴ければ、協力します」と馬鹿丁寧な答えたので有る。しかし、今振り返って、考えると上田君にしても富安君にしても私よりも二年も下である。先輩が言つて来た事に、NOとは言えなかつただろうし、私の後ろに砂泊先生が眼を光らせておられたわけであるから、尚更である。先生は結果をお見通しで、私は猿回しの猿よろしく、上田君や富安君の周りを聞いて歩いてた事に成る。

私だけ反対しても仕様が無いなと思つて「熊大も遣ります」と返事をしてしまった。商大の二番煎じでも有り、矢津さんと競わされているようでも有り、何か、嫌だなと良い気分では無かつた。

#### ○ 合気道部創立への準備

合気道部を創りますと砂泊先生に伝えたものの、私も上田君も未だ全くどう始めて行くか、考えてもいなかつた。所が砂泊先生は既にある程度、青写真を描いて居られたのか、甲子園に選抜野球で出場した高校野球の監督さんよろしく、「小山先生に顧問に成つて貰ひ給え」とか「建築科の高浜先生に挨拶に行つて来給え」とか助言して、「ブロックサイン」を出されたので有る。私も上田君も当時、よっぽど動揺していたのであろう急いで、市電に乗り、薬学部が在る水前寺、江津湖の方へ向かつた。薬学部に着いて小山先生に面会を申し込んだら、只今近所にお出かけになつて、面会出来ない和小山先生と同じ年頃の老人が出てきて伝えた。其れでは、お帰りになるまで此処で待つていようと、上田君と何か世間話をしながら待つていたように記憶している。かなりの時間待つて貰つたが、小山先生はお戻りにはならなかつたのではないであらうか？先生に「合気道部を創りますから顧問に成つて下さい」と言っているシーンが記憶として思い浮かばないので有る。

結局、長時間待つた挙句先生にお目にかかれなかつたので、その老人に言伝をして帰つたのではなからうか？後でよく考えると小山先生は、道場に毎日朝来ておられたし、私も上田君もほぼ毎日朝稽古で、お目にかかつていたもので有るから、道場でお願ひすれば良かったはずである。遠い水前寺までわざわざ出かけて行つてお願ひする事が、偉い学者先生を我々が合気道部へ顧問としてお迎えする、学生としての礼儀だと考えていたのだろうか？なんだかよく判らない行動をしていたものだと思えるので有る。また、建築科の高浜先生の所へは私一人で挨拶に行つたが、先生はイタリアカギリシヤへ出張になられていてお目に掛かれなかつた。始めのころは砂泊先生の助言の儘に私や上田君は動いていたが、そのうち段々自分達が何を成すべきか考えるようになって来た。そうだ、四月に成れば新入生が入学してくる。新入生を部員に勧誘しようかと上田君と道場で思ひついて話をした。もう3年生になって歳も明けた2月頃ではなかつたろうか？

#### ○ 私達の下宿の住人および部員募集の立て看板作り

私が下宿していた高木さん方の離れの建物に、私同様3人の熊大生が下宿していた。猿渡光吉、本田敏夫、藤本輝則の三名である。猿渡君は私と同じクラスの工業化学科で大半田南高校卒、私は彼と同じ福岡県であった為か同じ福岡県柳川市伝習館高校から来た私と馬が合い

親友だった。二年生歳下の本田君は法科で愛媛から、又同じく二年生歳下の藤本君は山口県岩国市から来ていた。藤本君は高校生時代弓道部に入つていたとか、弓道は矢を的に当てることより、矢を射る前の立ち姿、矢を射つてからの姿勢が大切なですよと私に教えてくれた。又本田君は小説を読むのが好きだったらしく、尾崎士郎著「人生劇場」の文中で、吉良の仁吉のお父さんが子供の仁吉を大木に登らせて下から其の大木をゆさゆさと揺す振つて、仁吉の胆力を鍛えたと言う箇所にも感動したのか、しばしばそのことについて、藤本君と話をしていた。朝晩の食事は高木さんの母屋で四人顔を合せて振つていたので、同じ釜の飯を食う仲間意識が芽生え、仲が良かった。其処でこの四人は月に一度か、二ヶ月に一度、たまたま猿渡君が持つていたニクロム線の電気こん炉と高木さん宅から借りてきたフライパンを使って、すき焼きパーティを開いて楽しんでた。其処で自然合気道の話になつて、「合気道を教えてくれる砂泊先生は良い人だよ、合気道の稽古ばかりで私が堅い人間に成つてしまつてはいけないと言つて、私をダンスホールへ連れて行つてくれたよ」と話したら、本田君は「ええ！そんな面白い先生が居るのですか？じゃあ、私も入門します」と言つて熊大合気道部創立の準備をしている頃には本田君も万生館に入入して居たので有る。でも私は、本田君は面白い男だなあ、彼は合気道を遣りたいのか、それとも、砂泊先生にダンスホールへ連れて行つてもらいたいのかな？と、ちらつとその想いが頭を掠めたのである。そして、この月いちパーティに上田君も加つたので有る。だから、上田君は本田君も藤本君とも顔見知りになつてた。この様な時に、新入生を部へ勧誘しようと思ひ付きが出てきたので、上田君は早速、勧誘の為の立て看板造りの為の木材、和紙、墨汁、毛筆を買い揃えて、我々の下宿を訪れたので有る。木枠を造る為に鋸で木材を挽き切つて、木枠の長さや幅を決める為に、上田君が木片を動かしながら「どう？どう？」と問い、藤本君が「ああすべきだ、こうしたほうが好い」言い、本田君や私は「うんうんそうだ」と言つて立て看板の木枠の大きさを決め、木枠に和紙を貼り付け、最後に上田君が墨汁で「合気道部、部員募集」と大書した。私はこの時、心強い後輩達が揃つてくれたと少し気持ち良かった。

#### ○ 新入生部員及び畳探し

部員募集の立て看板を新入生が入学してくる、入学式の前日の夕方、教養部のサインカーブの桜並木の道に上田君と立て行つた。ひよつとすると本田君も其処に居たかもしれない。入学式の当日、新入生達はこの道を歩いて、昔の五高の赤レンガの建物の前の大きな建物の講堂へ入つて行つたので、多くの新入生達がこの立て看板を見ながら通つていった事に成る。風に飛ばされたり、誰かに破かれたりしていないか、心配に成つて、当日、私は自転車に乗つて下宿からわざわざこの看板を確認に来て、昨夜立てた時と同じように立っているのを見て安心した。入学式から数日経つて、上田君、富安君、

本田君と私は教養部の合同教室から長い机を引っ張り出して来て、教養部の前の少し広くなった通りの空き地で、新入部員の募集、入会受付を行つた。私は、まあ二三人、入会してくれれば良いなと思つてた。所が、十人近い数の新入生が入会してくれて、嬉しいうちや吃驚するやらであつた。これは大変、これだけの部員の稽古が出来場所を何とか確保しなければならぬ。私は前々から、工学部の講堂（工学堂か？）に眼を付けていた。というのはこの講堂は、私が二年に進んで一度だけ工学部長の挨拶が何かで、工学部全員（一年生から四年生まで）

がこの講堂に集まった事が有ったが、それ以来、一度も使用されず、何時も無人でカランとしていた。此処へ畳を敷けば、何とか稽古が出来そうだと見当を付けた。何とかして畳を手に入れた。そう考えていると、教養事務局の山口厚生部長だったか或は上田君だったかが、医学部の寮の建て替えを遣っているという情報舞い込んで来た。じゃあ！ 其処に不要になった畳が有るかもしれない。本田君と私は他県人で医学部の寮が何処に在るかも知らない。「医学部の寮って何処に在るのだ」と上田君に尋ねたら、「熊本城の方でしょう」と上田君が応えた。上田君は熊本高校卒で彼だけが市内の地理に明るい。そこで、上田君、本田君と私の三人は事務局からリヤカーを借りてテクテクと大学通りを熊本城に向かって歩き出した。物の五分が十分歩いて子飼橋へ曲がる三叉路の少し手前迄行くと、左側に当時は「高橋電気店」があつて、その筋向いに畳屋が在った。ああこんな所に畳屋が在る。駄目で元々と畳屋のおやじさんに聞いてみよう、私は「余った畳は有りませんか？」と声を掛けた。「古い畳だった何枚でも良いよ」とおやじさんは愛想よく応えてくれた。二十枚ほど分けてもらった。私達は熊本城の所まで行かずに、手近で畳が得られたと喜んだ。（自転車です！手取り神社迄十五分ぐらい要したので有るから、まして、リヤカーを押しながら熊本城のところまで行つたら、四十分〜一時間片道だけで掛かつて仕舞つたであらう。）手近な所とはいへリヤカーにせいぜい、四〜五枚の畳しか積み込めないの、工學部の講堂と畳屋の間を幾度も往復した。我より身体の大きくて力持ちの本田君が我々の仲間に加つて、本当に助かった。若し、上田君と非力の私だけでこの作業をやっていたら、私はどうに、音を上げていただらう。四月の中旬が下旬の頃でうす曇の日であつたが、幾度も無く、畳を運んで往復した為少し汗をかいた事を覚えてゐる。私はこの頃、無断で畳を行動に運び込み、講堂を無断使用していることに、少し不安を感じた。工學部の事務局が何かクレームを言つて来るのではないかと。其処で、建築科の高浜先生に我々の為の盾に成つて頂こうと、高浜先生に会いに行つて「熊大合気道部を創りました。工學部の講堂で稽古しますからよろしく」と伝えた。高浜先生は外国出張からお帰りになつていて「え！学内に、部を創つたの？」と目を丸くされていた。部員も集まつた。稽古出来る場所も確保した。さあ！これからのいざ活動だと私や上田君は張り切つて来た。

#### ○ 熊大武道場、模範演武、Nさん出欠問答

そんな日の朝、私は何時もの様に、万生館の朝稽古に出たので有る。この時、新入部員が十数名入りましたよ、畳も確保して、準備がすっかり整いましたと先生に報告したのだから、どうも私はその様な事を先生に伝えた記憶が無いので有る。ひょっとすると上田君が富安君が先生に伝えていたのかもしれない。先生が「熊大合気道部の稽古、練習が始まるだらう？ 始める前に、私が部員の皆に演武をして見せてあげるから、道場を予約手配しておきなさい」と言われた。有り難い流石は先生だ！ 我々の事をずーと心配して下さっていたんだと思つた。私、上田君や富安君がいくら有段者に成つたかといつて、我々が新入の初心者合気道を見せるのと、砂泊先生に頂いて本物の合気道を見せるのでは格が違ふ。我々のは「合気道もどき」である。だいいち、先生がじきじきに大学に、おいで頂いて、演技をしていただければ、熊大合気道部に箔が付く。こう考えて喜んだ。此処までは良かった。所が先生は「就いては、Nさんにもその場に出席するよう連絡して欲しい」と言われたのである。この時、初めて私はNさんを思い出した。仕舞つた彼女も熊大生だった、なんにも彼女には合気道部を創る事

を話して無かつた。所が彼女とは一度も話した事が無い。教育学部という事はわかつてゐるが、何年生なのか、又住所は何処なのか？ この時先生にNさんに関して私はさっぱり知らない、ついでに連絡先を教えてもらえませんか？ というか素直に、聞くべきだった。所が私は氣転が利かない、乃至は頭の回転が悪いと言ふのか？ こう考えた。教育学部といっても一年から四年まで有る。これに教育学部の音楽科や体育科が有るとすれば更に二学部増える。また教育学部には幼稚園や保育園の保母さんや先生になるための資格を取るための短期二年間の教育学部が有る。そうすると八クラス或は十クラス以上の教室をNさんや！ Nさんは居ませんか？と探さなければ成らなくなる。この糞忙しいのにとつても遣つて居られない。と思つてしまつた。無理だ！ 断わろうと思つてとんでもない事を言つてしまつた。「女の子は例え出席すると、返事をくれても其の時に成らないとどう変わるかわかりませんよ。女の子は気が変わりやすいので頼りに成りません」と応えてしまつた。これから私と砂泊先生の押し問答が始まつた。先生は「いや！絶対に頼りに成る」といわれるし、私は一度出した言葉はそう簡単には翻す事が出来ない。「頼りに成らない」「いや！絶対に頼りに成る」との押し問答がかなりの時間続いた。あの時先生は私に対してより、未だ道場に残つていた数人の女性を氣にして強く私の言葉に反対されたのでは無からうか。先生が子供のときや少年期過ごされたのは、あの古臭い因習の残る鹿児島である。当時の鹿児島は完全な男尊女卑のお国柄である。若し私と先生と二人だけであつたら「ああそうか！」と私の言葉に妥協されたであらうが、女性の門人が数人残つて居て後で聞き耳を立ててゐる。うっかり「ああそうか！」と私の言葉に妥協なんかしようものなら、たちどころに先生は女性達から総スカンを食らつて、女性達は止めていつてしまふ。だから、後ろの方へ良く聞こえるように、少し声を上げて「女性は絶対頼るになると」強調されていた様に見受けられた。私と先生の押し問答は十分〜十五分続いたらうか？ 私は万生館を離れた途端、また、Nさんの事を忘れて仕舞つたのである。

#### ○ 模範演武および講堂での稽古開始

模範演武予定の時間に私は稽古着および袴を穿いて武道館に入ると、もう新入の部員達は其処に来て座つて待つていた。私が「あれ！」と思つたのは教育学部の村上助教が新入部員達の傍に座つておられた事である。（この先生は私が一〜二年生の教養部時代に体育の授業を担当された方である。来て頂くように、連絡もしなかったのに何故お分りになったのかな？）とその時は、訝しく思つたが、後で判つた。この武道場の最終管理責任者はこの村上先生だったので有る。それに合気道部員募集の立て看板や現実に入新部員募集をしたりして、学内ではかなり目立つた動きをしていたので、何事が起こつてゐるのか？と心配に成つてゐたのかも知れない。砂泊先生が内弟子の井上君を伴つて現れた。あつと驚いたのはNさん（N嬢）が彼女も又稽古着袴で砂泊先生達と一緒に現れたことである。私は彼女の住所、教育学部における所属を知らないの連絡した覚えはない。吃度砂泊先生が「竹下君が女性は頼りに成らないと言つて居るから、こは一つ、今度の模範演武の時、出席して、竹下君の鼻を明かし給え！」とNさんに言われたのに違ひない。

先ず、砂泊先生と井上君がお手本の演技を行い、同じ技の演技を道場での稽古風景だと言つて既存の部員、私、上田、富安、Nさん、本田君が二人ずつ組んで、技（わざ）の掛け合いをした。小手返し、いり身投げ、四方切り等三つの技を村上先生や、新入部員達に披露した。約

一時間も経ったのだろうか？披露演武は終わった。申し訳ない事をしてしまった。Nさんに謝ろう、そして出席してくれた事に礼を言おうと立ち上がった。途端に、「おい！君！」と村上先生から呼び止められた。「はっ！何でしょう？」と村上先生の方に向き直ると、「きみ！姿勢が悪いぞ、稽古中、猫背に成っている。武道を遣っているものは背筋をびんと伸ばしていなければ駄目だ」と注意された。「はっ！判りました」と言って、Nさんのほうに向きを返したら、もう其処にはNさんは居なかった。道場の外を探してもNさんは見当たらない。まあ良いや、今度万生館に行つてNさんに会つた時、謝ろうとその後、しばしば行つて、Nさんが来てはいないかと探したが遂に会う事が無かった。それ以来今日まで、Nさんのことは私も、上田君も忘れてしまった。五月に合気道部は発足したわけであるが、実際、講堂で稽古を始めたのは五月の末か、6月始である。前受身、後ろ受身から四方切り等、私が先生になって上田君と組んで技を見せ富安君や本田君が手伝つてくれて、新人を指導した。約一ヶ月の稽古ぐらいしか出来中なかった。七、八月には長い二ヶ月間の夏休みが来たのである。

#### ○ 記憶喪失（空白の期間）

長い夏休みが終つて、又大学に戻つてきた。この時未だ私の卒論を書くための卒業実験は進まず、困つたなあと思つていた。此処までは記憶として覚えていたが、此処から先の記憶を喪失した。当然夏休みから戻つてきて部員を集めて稽古した筈であるのに、九月から十一月の三ヶ月間の記憶が消去されたようでもうどうしても思い出せない。理由は簡単である。工學部の運動会の棒倒しの競技の最中、こめかみを強打たれ気絶し記憶を失つたのである。工學部は例年、十月末から十一月の始めに武夫原で運動会を行う。機械科、土木建築科、採鉱冶金科、工業化学科（工化）の四科に分かれての競技の対抗戦である。競技種目に棒倒しがあった。工化の場合一、四学年の学生全員を半分に分け、一方は守る側、十メートルほどの木の柱の周りをぐるりと取り囲んで木の柱が仆れないように手で支える。残り半分は他の科の同じく守っている木の柱をピストルの合図と共に走つて、倒しに行くのである。所が、簡単に敵からこの柱を倒されないように、このぐるりと柱を取り巻いた者達の前面に、空手や柔道等、正に腕に覚えのある連中が四、五名ばかり横一線に並ぶ。所謂、防御ラインを敷くのである。私はかねがね、この防御ラインを打ち破らないと相手側の守っている柱（棒）に友軍が到達出来ないだろうなと思つてた。所が、工化科の内を眺めてみると、勉強は出来るがおとなしい者ばかり、殴り合いの喧嘩なんて全く縁の無い顔をした者ばかりである。僅かに私のクラスに中学が高校で空手を習つてたという友人が居るだけである。そこで、私は兼ねてから先頭に立つてあの防御ラインに突っ込んで行くより方法は無いと思つていた。当日の相手は採鉱冶金科だつたと思うが、私は此れを実行した。気が付いた時には私は本部席のテント、救護班の居る長椅子に横に寝かされていた。眼を覚ましたら、二人のお婆ちゃんが私の顔を覗き込んでいた。「長い間、意識が戻らないので、随分心配したのよ！」とお婆ちゃんが叫んだ。このお婆ちゃんには見覚えがある。そうだ、何時も教養の事務局、山口厚生部長の隣の部屋に座つた人だと思ふ。何んだつた。私はこの時初めて、このお婆ちゃんには看護婦の資格を持った人だと思ふ。何時も一般の年寄りのお婆ちゃんがあるような服を着て座つていたので、雑用係か便所掃除の伯母さんかなと思つていたのである。それによろしくと左のこめかみから右側にかけて猛烈な痛さなのである。傍に高橋電気店の社長が矢張り心配そうな顔で覗き込

んでいて「倒れて居て、危ないので、俺が担いで連れて来て遣つたのだぞ！」と言われた。この時初めて、私はこめかみを殴られて、気絶していたのだと思ふ。意識を回復したのであるから、長く本部席のテントの中で寝ているわけにも行かず、又私は棒倒しの結果はどう成つた気がかりだったので、よろけながら、我が友軍、工化の応援席に戻り「棒倒しの結果はどう成つた？」と友人達に聞いた。「勝つたぞ！」友人達は皆、笑顔だった。私は頭が割れるように痛い。ひよろ、ひよろ、よろけながら、この武夫原の垣根を一つ越えた高木さんの下宿、自分の部屋に帰つた。部屋で頭を抱えながら休憩しているとどう運動会は終つたのか、親友の猿渡光吉君も戻つて来て、「おい！工化科が優勝したぞ、今夜、工化の集會場で優勝パーティがあるから行こう」と私を誘いに來たのである。私が熊大に入学した頃から、日本の産業のエネルギー調達方法が石炭から石油、石油化学へ代わつて言つたのである。事実、大牟田の三井三池炭鉱は閉山と成り、この閉山に伴う労働争議のニュースが毎日、新聞の紙面を賑がせていたのである。今まで工化の学生と言へば、勉強は出来るが、運動神経は「いまいち」と言うのが代名詞に成つていた。工學部の運動会では毎年「びりケツ」であつたのである。所が、ここ二三年前から勉強も出来て、しかも運動神経も優れた（特に走ることに）学生達が入学して来るようになったのである。つまり、産業、経済の変化によつて、学生達の志望学科が変わり、工化科は花形の学科として見られるようになったのである。運動会の競技種目に大津の「武蔵塚」までの往復マラソンが有つた。一着は十点、二着は九点と言う様なポイント制で点を取り他の科と得点を争つていて、十番以内であれば、点を稼げた。以前はこの十番以内になかなか入れなく、入つたとしても八着とか九着に一人戻つてきて、なかなかポイントを稼げない。其れが去年ぐらいから工化の下級生が一着、二着、四着、六着と続々と戻つてきて、大量得点を稼いだ。応援していた私も興奮して、感激したものである。多分今年も優秀な下級生達が頑張つてくれて、大量得点を取り、しかも棒倒しの競技までも勝つてしまつたので、優勝したのである。集會場に入るともう大変な盛り上がりである。工化の一年生から四年生まで全員出席しており、工化には四講座有つたが、この四講座の教授、助教授の先生方も全員出席されていて、学生達の前面に学生に向かつて横一列に胡坐をかいて座つておられた。学生達も興奮して騒いでいたが、一番喜んでおられたのは先生方である。十数年、最下位に喘いで、苦渋を舐めて来た（此れはちよつと言ひすぎであるが）少なくとも先生方は面白気分では無かつたのが、此処で一挙にはらしたのである。本里教授（この方は分厚い茶色のロイド眼鏡、パイプのパイプを嚙らせ、授業の無い、昼休みに工學部の運動場で当時としては珍しいゴルフのドライバーを振つて居られる工化科の名物教授で後年、工學部長に成られた方であるが）興奮して、すっかり舞い上がつてしまわれ、私を見つけて「君の勇氣には感心したぞ！」と大声を上げて、皆の前で私を褒めてくださった。この時、私は一年生の時の有る事件を思い出した。それは入学して間もない、一ヶ月も経たない頃、クラスで親睦会を開いた。この時、工化科で一番人気の有る先生を呼ぼうと言つて、本里教授に出席してもらつたのである。しかし、入学して間もない頃の事で、高校生から大学に入り大人扱いされた始めての酒宴の席だったから、全く盛り上がりがない。其処で、場を盛り上げようとして、何か余興でも仕掛けてみたか、私は宴席から立ち上がった。途端に酔いが全身に廻つたのか、ヘナ、ヘナと尻餅を撞いてしまった。丁度この時、本里先生は用足しか或は、会が終つたと思われたのか？私の前を通り掛かれたのである。私はこの足に捕まれば立ち上がれる、又は私が何か余興をしようとして立ち

上がったのに、先生にも観て頂かなくて帰られては困ると思った。多分、後者の方だと思われるが、逃がして成るものかと、大先生の足にしがみついた。後はどうなったか覚えていない。翌日、教養の授業に出ると、クラスの友人達が私の顔を見てクスクス笑うので、どうした?と尋ねたら、「お前、夕べの親睦会で、先生の足にしがみつきの、先生を困らせていたぞ」と言って、クラスの全員がどつと笑った。「ああ仕舞った!入学早々大変な事をしてしまった。本里先生に目をつけられ私に対する悪い印象を持たれたら、良い成績は貰えない。場合に拠ったら落第させられるかな?」と心配したので有る。しかし元々私は大自然の中でなまずや鮒を友として育ったので、楽天的な性格も少しある。いや待てよ!今、自分は教養部に居て、実際、本里先生の工化の専門部の授業を受けるように成るまで、一年半時間が有る。人の噂も七十五日と言うではないか。今度、先生に再びお会いして授業を受けるまで、一年半有るから先生はすっかりお忘れに成るだろうと、勝手な解釈をして、さっさと自分の方から忘れてしまっていたので有る。本里先生がこの時のことを覚えておいでに成ったかどうかは分からない。ただ、私は一年生の時の事を思い出して、あの時、先生にえらく、迷惑をかけていたので、少しは罪滅ぼしに成ったかなと思った。とは言え、私はどの様にして殴られて仆れたのかさっぱり覚えていないし、皆が相手方の棒(柱)を倒す為に押し合い、へし合いしていた頃には私はノック・アウトされて武夫原の大地に長々とダウンしていたわけであるから、幾ら教授から褒めていただいても、素直に喜べない。寧ろ、武道を習っていないがらあつさり倒されてしまった自分が恥ずかしいという気持ちに先に立ってしまうので有る。それに頭が割れるように痛い、とても、酒を飲んで喜んで居られる気分になれない。私は早々に、会場を出て、下宿で横になったが、頭の痛みで寝付かれない。頭を右に変えたり、左にして寝返りを打ち、明け方やつと少しうとうとと眠った。翌日になっても、頭の痛みは変わらない。此れはえらい事になった。頭を叩かれた拍子に頭の骨にひびが入ったか?或は骨折したのかなあ?明日痛みが退かなければ医者に行つて診て貰おうと考えていたら、良い塩梅に、三日目から痛みが退いていったので有る。この気絶によつて私の当日、朝起きてから棒倒しで気絶するまでの行動記憶がすっかり消されたので有る。此れは当然な事で、パソコンに例えて言えば、一次記憶のメモリーに入っていた作業内容が、電源を切ろうとすると、保存しますが、と必ず聞いてくる。保存のボタンを押すとその作業内容がハード・ディスクに移され記憶は永久固定化する。所が私の場合一次メモリーに入っていた記憶が気絶によつて突然、電気が切れた様になつてしまつた。記憶の固定化作業が行われないうちに電流が切れたので、たちどころに一次メモリーの記憶は消えてしまつたので有る。それはまあ仕方が無いとして、どうもこの時、記憶の回路か、或は記憶して置く場所の一部がショックで損傷を受けた様である。この日から遡つて二ヶ月前の私の行動記録がさっぱり引き出せない。この間卒論実験で忙しくなつたので、上田君や富安君に後は頼むよと言って、卒論実験だけに専念したのか?或は相変わらず講堂で新人を相手に稽古をしていたのか?さっぱり思い出せない。また気絶から意識を回復した後も印象が強い物事に就いては覚えてるが、合気道部とどう関わつたかについては記憶が出てこないもので有る。はつきりとした記憶として取り出せるのは、私が熊本での最後の年、歳が明けた一月頃から有る。

# ○ 体育会入会、第一回追い出しコンパ

明けて一月の中旬か下旬、私は稽古着と袴を持って学生食堂、教養部事務局の前を私の下宿

へ向かつて歩いていった。稽古着や袴を持っていたところから、講堂で稽古をしての帰りだったのだろうか?山口厚生部長に出会つた。この時、部長は「体育会に入りなさい。少し援助金が出ますよ。少しですけれどもね」と教えてくれた。私は此れまで、熊大に体育会なるものが存在していることを知らなかったし、体育会の何たるかの価値も知らなかった。ただ、援助金もらえると聞いて、「えつ!幾らですか?」と聞き返した。「少ないですよ、三百円です」とおっしゃつた。私は「二年生の時、貰つた奨学金は二千円/月であつたから、当時の三百円は、今の値に直して三千円ぐらいであろうか。確かに少ない、でも、貰わないより貰う方が良い。其処で、私、どなたが体育会のご担当の先生でしょうか?」と尋ねた。村上先生との事である。村上先生であれば、良く存じ上げていると村上先生の所へ行つて、「合気道部を体育会に加入させて下さい」と頼んだ。「法文の酒見明石と言う学生が体育会の会長を遣つていたので、彼に頼んで、取計らつて貰いなさい」と言われた。何と言う偶然、酒見明石は私の出身、伝習館高校の同級生であつた。彼は高校時代、私達の隣のクラスにいて直接彼と話した事は無いが、代数、幾何の授業時間は隣のクラスと一緒に合同クラスと成り彼が数学の先生から指されて黒板に解答を書きに行くと、皆が「わつと!」湧いた。ひょうきんな所が有つたのだろう。私は「何だ?あいつは」とクラスの友人に尋ねたら、「お前知らないのか?あいつは県大会に柳川地区の代表として出場するほどの卓球の名手だよ」と教えてくれた。熊大に入学してから高校のOB会に出席して彼と話すように成り親しくなつたので有る。此れは有難い彼なら良く知っているを彼を探して法文の赤レンガの部屋へ向かうと中から一人の学生が出て来た。「酒見君はいですか?」と尋ねると「あの卓球の強い酒見さんですか?」と逆に問い返された。はあ?大学に入つてからも、卓球を続けていたんだと悟つた。中に入つて酒見君に会つて「合気道部を体育会に加入させてくれや!」と彼に頼んだ。「よし判つた。x日x日に体育会の総会を開くのでその席で諮ろう。出席しろや」と返事をくれた。友人とは有難いものである。「やー!やー!」と片手を挙げて挨拶するだけで、意志が通ずるのである。体育会総会の当日、私は総会と言うのだから、さぞや、各部の部長さん、例えば柔道、空手、バレー部等沢山の部長さん達が出席しているだろう。場合によつては、これ等の部長さん達の前で合気道部紹介の挨拶をせねば成らないかな?と心に準備して、会議室に入った。部長さんらしき背の高い全く面識の無い学生が二人と酒見君がいた。「あれ!ちよつと早く来すぎたかな」と思ったが、三人は平気な顔をして、討議を始めた。私は体育会は始めてであつたから、三人の話している内容が判らず。黙つて三人のやり取りを聞いていた。終わりに近づいた頃、酒見君が「合気道部が体育会に入会したいと申請が出ていますが、どうしますか?」と問うてくれた。二人の学生はすかさず、「異議なし!」、「異議なし!」と叫んだ。そうしたら、酒見君は「満場一致で合気道部の体育会入会を認めます」と澄ました顔をして宣言した。私は「おい、おい、満場一致の満場とは部屋いっぱい人が居るという意味ではないのかい、だけど此処にはたつた二人しか居ないではないか?」私は可笑しくて、噴出したくなる気持ちであつたが、「いや待てよ!」此処で私が変な発言をして、三人に顔を曲げられて、「入会はんた!い!」なんて言われたら、折角の苦心が水の泡になると思ひ直して、椅子から立ち上がつて神秘的な顔になり、三人に深々と腰を折り「有難うございます」と礼を言つた。此れが正に合気道部が正式に熊大体育会に入会した瞬間だつた。私は後は酒見君が登録等巧く遣つてくれるだろうと安心しきつて、すっかり体育会については忘れてしまつた。所が、二三日経つと、本田君が「村上先生が呼んでいますよ」と学生食堂の前で私に伝

えた。村上先生に「何か、御用ですか？」と尋ねると、「体育会に入っただから責任者の名前を出せ」とおっしゃった。其処で私は「合気道部主将、竹下和秀」と私の氏名を書いて先生に手渡した。すると先生は「なんちゅう字だ！ 此れが大学生が書く字かよ、あーあ！ 情けない」とため息をついて肩をお落とした。私が字を習い始めた小学二年の頃、私の家族は東京の戦火を逃れて父親の里、福岡県浮羽郡船越村に移って来た。東京都水道局の土木技師だった父親は戦中に務め新しく百姓を始めたばかりで、家庭の経済はどん底で、当時、習字用紙は一枚三十銭か五十銭であったが、家庭の窮乏をよく分かっていた私は其れさえも買ってくれと親に言い出せなかった。結局、巧い字を書くことを諦めた。私は、母親が字が下手でも他人が読んで判るような字を書けば好いと言われて其れを拠り所として、此れまで遣つて来たのである。私が字が下手なことは自分が一番よく知っていた。しかし自分の生い立ち等いちいち説明しているのも面倒なので、「どうも済みません」といつて先生の部屋を出た。後年、私は社会に出て、十四十五年、或は二十年も経つていたのだろうか？ 東京で高校の同窓会が有つて、酒見君に会った。この時彼は通産省の中小企業向け融資の課長に昇進して居たが、私は合気道部の体育会入会の時のお礼を言い、気になつてたあの時に出席していた部長さんはいったいどなただったのか、尋ねた、しかし彼は一生懸命思い出そうとしてくれたが、どうしても思い出せない。私にとつては忘れたい、一日であったが、彼に取つては、取るに足らない一日だったのだらう。

三月の中旬だったのだろうか？ 上田君が私の卒業、追出しコンパをしてくれろというので、出席した。小山先生、高浜先生、砂泊師範、内弟子の井上幹雄君、それに合気道部の全員が私の門出を祝う為、出席して下さいました。全員で約二十名ほどの集まりだった。酔つ払わない内に記念写真を撮つて置こうと上田君が言つて整理して撮つた後、宴席に就いたら小山先生と同年輩で私が全く面識の無い方が私の左側に座つた。あれ、山口厚生部長の代理の方か、或は、村上助教の代理の方かな？ と思つていたが、この方は会がお開きになつて、帰りに私に向かつて、「部をお作りになつたのですか？ 良い事をされましたね」と言つて去つていった。「合気道部と全然関係ない部外者も混じつていたのか？」「失礼ですがどなた様ですか？」私の横に座つていた時に聞いて置くべきだった。熊大に近い場所だったので、其処にのみ来た、熊大関係者が、学生が飲んで騒いでいるので、自分も資格ありと思つて入り込んで、ちやっかりただ食いしていたのかもしれない。

○さらば、万生館！さらば、熊本

熊本を去る前日、私は万生館へ砂泊先生にお別れの挨拶にいった。道場に井上君が居ないので、日浦君に井上君はどうしたと聞いたら、鹿児島から内弟子に入門してきた者と花札賭博をし金を巻き上げたので、破門になつて道場を追ひ出されたと教えてくれた。あーあ、彼は何時も私を助けてくれたのに、分かれの挨拶が言えなくて、残念だった。砂泊先生は、私の合気道は未だ未熟だと心配して下さいましたのか、合気道を使う時の注意、心得等をお話して下さいました。そして此れが先生にお会いする最後と成つた。

四年前、熊本に入学して来る時には随分心細い思いをしたが、この四年間の色々の経験が私を強くしてくれた。私が熊本に居る間、私の周りには不思議な力が働いていた様だ。それらの力が私を良い方へ、良い方へと導いてくれた。福井君、角田さん、井上君がしかり。彼等は役目を終えるとも、自分の務めは済んだと言わんばかりに私の前から消えて行つて仕舞われたのである。尤も私に一番影響を与えて下さつたのは砂泊先生であるが、又、熊大合気道部設立に當つて、上田君は良く私を補佐してくれた。物事を始めるにあつて、躊躇はするが、いったん、目標を決めたら猪の如く、奮勇で直進する私の性格と、情報を集め、緻密に計画を立てて進む上田君の明晰な頭脳がうまく噛み合つて、合気道部創立に漕ぎ着ける事が出来たと思つています。

私は卒業後、熊本を離れても尚、熊大に合気道部を創つた事に、すつきりしない気持ちで居た。特に、後輩たちが、秋の演武会で資金集めに苦心しているのを見るにつけ、此れで良かったのだらうか？ 後輩たちに迷惑を掛けしまったのではないかと疑念が度々起こつた。しかし、それから十年が経ち、東京の事務所に移つた時、東京の主たる大学では合気道部が創られていたし、大阪の小学校、或は秋葉原の無差別殺人のニュースを見るにつけ、砂泊先生があの社会党首暗殺事件の時におっしゃつた「武道の心得が有つたら、例え傷を受けても、致命傷で亡くなる事もなかったのだよ」とのお言葉を思い出し、やっぱり、熊大に合気道部を創つておいて良かったのだと納得するのであった。

完

内科・小児科・呼吸器科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科  
医療法人 杏友会

## 野津原内科医院

理事長 野津原 昭 院長 野津原 敏雄

TEL 熊本 (096) **343-0720**

| 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 主 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00~13:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14:00~18:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 |

日・祝休診 但し急患はこの限りではありません

心臓病 高血圧症 検診  
生活習慣病に関する健康相談  
特定検診  
生活習慣病検診  
胃ガン検診

熊本市中央区黒髪6丁目1-23 一里木バス停そば

祝！ 創立50周年記念演武大会

## 寺原自動車学校

熊本市中央区壺川2-3-78

テラバルは 全て新車

TEL 096-353-2111  
URL WWW.HI222.CO.JP

## 合気道部時代の思い出（回顧録Ⅱ）

第二代 野口 喬弘

合気道部発足五十周年記念、そして私が入学したのも五十年前、わが人生に合気道あり、何だか因縁の出会いであったと思う。折角、熊本で学生生活するのだから、生涯の記念になることをしたいと考えていた。ある日「合気道同好会」が部員募集しているのをポスターが目止まった。その練習風景は何度も見に行った。主将の凛とした身のこなしとその動きの合理性に魅せられ、これだと思った。しかし、同好会ではその存続性があやぶまれ、入るのは暫く躊躇していたが、間もなく「合気道部」になったので入部させてもらった。

部室はなく、稽古場は工学部にあった旧制五高時代の建屋か？、普段使われてない講堂の中であつた。舞台奥壁には何故か大きい日章旗が張っており、少し薄暗かった。その中で畳が敷かれていた所が道場だった。稽古は平日夕方二時間、主将と共に日章旗の方向に手を合わせて拝礼、主将に挨拶して始まり、又、拝礼して終わった。又、時々、竜田山の麓近く文学部教育学部の外れにある柔道部の道場を借用して練習することもあった。部員は全員男子で、上級部員の指導のもと、懸命に黙々と技の練習に励んだ。

馴れない部活に、当初は体が硬く、動きが思うに任せず相当苦勞した。ある夕方、稽古終了後、学食を食べ下宿に戻って休憩中、突然体が硬直して身動きも取れず、息苦しくなり、パニックを越した。そして隣部屋の友人の部屋の前まで這って行き助けを求め、医者呼んで来てもらったこともある。同時期に入部していた新人達の中にも、何とか稽古をこなしても、体が痛いか、きついかで辞めていく者もいた。それでも、私は学生生活の中で、合気道での鍛錬を核とした日課に組み込んでいたので、迷わず練習に励んだ。そのうち袴の着用も許可されに至り、一段と自信を得て益々練習が楽しくなった。

ところで、当時工学部では毎年秋に学科対抗の運動会があつた。競技中では応援合戦もさることながら、「挑戦」（棒倒し）が最も刺激的で闘争心が煽られ、面白かった。特に、武道系の部活の学生には稽古の成果を試す絶好の機会でもあつた。この競技では例年土木科が、空手部員、柔道部員を多くそろえており優位を占めていた。この運動会に工業化学科一期生で、合気道部に入部したての自分にも白羽の矢が当たり、攻めの先兵として、駆り出された。敵陣の周囲を駆けながら、隙を見て土台を壊しよと登って棒を倒そうとするも、土木科の守りの空手部員の一撃を目に受け、目から火花が飛び散り、棒を倒すどころか悲惨な結果に終わった。二期生の時の運動会では、自分も合気道の練習も佳境に入り、棒倒しが楽しみとしていた。同じ学科の仲間には空手、柔道部の中堅部員達もそろつた。そのおかげで、棒を守っている土木科の

頭上に飛び乗り棒を横倒しにすることが出来勝利した。練習の成果を発揮でき、一期生の時の面目を回復したような気がして嬉しかった記憶がある。

二期生五月頃、（財）合気会の名前入り熊大合気道部の部員証第十二号をもらった。学校内外の部活としては、万世館道場及び学内での演武会、外では女子大での演武会など徐々に、活動の場も広がってきた。特筆すべきは、万世館道場に道主植芝盛平のご来場を得たことで、合気道部にとつても最も記念すべきことであつた。更に幸いなことには、道主の実技披露の場に同席させてもらったことであり、その神技とオーラには感動した。演舞中の道主はかつて行つたことのある屋久島の樹林の醸し出す神秘的雰囲気の中の一木の巨木のように、その巨木を一人仰ぎ見ていた自分を今も時々思い出すことがある。

これまでの人生を振り返ると、たった四年間の合気道との付き合い、鍛錬ではあつたが、仕事に余力があり、合気道修行が継続できる環境があれば、練習を再開したいとは常に思っていた。しかし、取り組む仕事環境では、遂にそれは果たせなかった。合気道への思い・愛着は常に頭であり、社会生活においても自分自身の言動を問う時には精神的支えとなり、自分を律してくれて来たと思う。即ち、自分の第二の人生の中で、遭遇してきた様々な難問苦悶に対して、挫けることなく乗り越えてきたバックボーンになってきたのが合気道への思いであつたと言える。

お陰様で、組織の中での自分の在り様は比較的自然体で、無心に、そして粘り強く取り組んで責任を果たしてこれたと自負している。

本心に学生時代の貴重な経験はありがたく、感謝の気持ちで一杯です。在学生並びに諸先輩の皆様にも今後とも益々のご健闘を祈ります。

熊本大学合気道部五十周年本当におめでとうございます。

平成二十四年七月七日

合気道部二代目

野口 喬弘

私が合気道に初めて出会ったのは、熊本大学に入学してからです。それまでは合気道については全然知識がありませんでした。友達に勧められて講堂（当時）で合気道の演武を見たわけですが、その時に、「部活動はこれに決めた！」と思いました。投げ技、受身、多人数掛け等、無理のない流れになるような演武すべてに渡って引き込まれたものです。それから合気道との付き合いが始まりました。八代在住だったので朝六時に起きて汽車通学（電車ではなく汽車でした）し、帰りは八時半頃自宅に着き、我が家では飯を食う↓風呂に入る↓寝るばかりの生活でした。良く続いたものです。

合気道に出会うまで私は初対面の人に対して、気後れがして、話す時でも堂々と出来ませんでした。気が小さいといえは小さいですね。どちらかといえば臆病でした。それが、全く変わってしまいました。面と向かって誰と話しても気後れしなくなり、思い切って何でも言えるようになりました。おどおどしなくなりました。とにかく、自分に対して自信が持てるようになりました。こうなると毎日が楽しいし、心も快活です。不思議なものです。そんなわけですから、学生時代、授業はさぼっても合気道だけは休まず頑張りました。

当時は、二年生後半から幹部となつてクラブの運営を行いました。私はキャプテンとなり約五十名の部員をどうまとめて運営していくか、同学年の仲間と一生懸命考え、取り組んでいきました。やはり、仲間のアドバイスは役に立ちました。それでも、「ああすれば良かった。」「こうすれば良かった。」「と自分の力不足を感じたものです。幹部になつてから何かと多忙になり、一年間ほど熊本市に間借りしました。しかし、苦にはなりません。合気道が楽しかったからです。楽しいと何でも苦にならないものです。

大学卒業後、教職に就いてからも少しブランクはありましたが、八代の道場で継続して稽古し、退職した現在も汗を流しています。振り返れば出会いから四十六年目、なぜ今も稽古しているのか考えた時に

- 自分に自信を植え付けた武道だから
- 自分を心身共に育ててくれた武道だから
- 自分に生き甲斐を与えてくれた武道だから
- 気分爽快にしてくれる武道だから
- 仲間と共にできる武道だから
- 勝敗を競わない武道だから
- 健康増進に役立つ武道だから 等々。

挙げればきりがありません。これまで本当に良い師範や先輩・同僚に巡り合いました。学生時代の仲間とは今でも（四十数年たつても）会って飲んでいます。八代の仲間とは言うまでもありません。今後も病氣・怪我をしない限り、死ぬまで頑張る心意気で励むつもりです。

平成二十四年度からの中学校武道・男女必修の流れを受けて、合気道の授業が熊本県内の多数の学校で実施されるよう力を惜しまず努力したいと考えています。（先日は八代農業高校で実技指導を行いました。）

## TOEI KYOTO STUDIO PARK 東映太秦映画村

### 360° フルスクリーンから飛び出す大迫力の 立体映像！



ハートフルサポート合同会社

全周型の大スクリーンに迫力の3D映像が映し出される驚異の360度超立体映像空間。飛び出す立体映像が触れるほど近くに、そして、身体をつらぬく大迫力の興奮体験。お客様を驚異の映像体験にご案内いたします。

東映太秦映画村

〒616-8586

京都市右京区太秦東塚岡町10番地  
0570-064349（ナビダイヤル）

<http://www.toei-eigamura.com>

私と合気道との出会いは、高校時代に遡ります。学校帰りにふと立ち寄った万生館道場で、砂泊先生の演武を偶然拝見して、何が何でも合気道をやりたいと思うようになりました。その後、運よく熊本大学薬学部に入學することができ、意の一番に合気道部の門を叩きました。

ところが入部早々、受身の練習中に鎖骨を折り、完治するのに半年もかかりました。さらに母親の反対もあり、退部しようとの思いで、最後に練習を見学させてもらいましたが、合気道をやりたいという内なる声に突き動かされて、再び練習を始めました。

二回生、三回生と日々上達していくなかで熱心に練習しました。演武会にも数多く出場させてもらいました。在部中は毎日の練習のみならず、夏冬の合宿や阿蘇遠歩・竜田山駅伝などにも参加して、先輩や同輩・後輩との交流も深めることができ、とても充実した学生生活を送ることができました。

その後、結婚して薬剤師として病院に勤めましたが、子育ても一段落した後は子供たちと小学校の合気道クラブに通いながら、柏の合気会道場でも練習に励み、二段を取得しました。なお、現在は太極拳を続けており、来年には師範取得を目指しています。やはり、私の武道好きは健在のようです。

さて、関東OB会もかれこれ十三年目を迎え、年々参加者も増えて盛り上がりつつあります。今年のOB会には、創部時代の諸先輩もご出席くださり、とても感慨深いものがありました。今後とも関東OB会の一員として、世代を超えて交流を深め、末永く応援して行きたいと思っています。

最後になりましたが、五十周年を迎えるに当り、これまでご支援ご尽力を賜りました方々に、心より御礼を申し上げます。



特定医療法人 杏林会

鴻江病院

理事長 鴻江 和洋

〒864-0032

荒尾市増永2620番地

TEL: 62-0525

<http://www.konoe-net.jp>

#### 診療科

内科◇消化器内科◇循環器内科  
神経内科◇呼吸器内科◇放射線科  
◇リハビリテーション科

#### 関連施設

デイケアセンターさくら  
有料老人ホームケアポート緑ヶ丘  
介護老人福祉施設白寿園

# 合氣道の歌

## 花の合氣道

- 一、合氣の道はひとすじに  
己を磨くためにある  
他人のためなら 身を捨てる  
つよい覚悟が 和をまねく
- 二、正義にうすい 今の世は  
我慢のならぬことばかり  
ここに合氣の真髄で  
破れ 時代の邪を
- 三、流れる水は ただ清く  
転がる石に草はない  
これぞ合氣と知るまでは  
汗の試練を 積むがよい
- 四、ひとたび内に備えれば  
外にはすべて憂いなし  
技と心の 一体を  
こめた演武に 花が咲く

## 男の魂

- 一、自分に自分が勝ちたけりや  
死にものぐるいで 稽古しな  
奥は深いぞ 合氣の道は  
やつてみなけりや わかるまい  
やつてみなけりや わかるまい
- 二、男と男の つながりは  
顔ではないのさ こころだぜ  
俺とおまえは おんなじ仲間  
尽くす誠が 胸にしむ  
尽くす誠が 胸にしむ
- 三、つらく苦しい 修行だが  
涙がおちても 泣くじやない  
くやしかったら 気合をこめて  
富士を片手で 持ち上げろ  
富士を片手で 持ち上げろ
- 四、火花を散らして 魂を  
ぶつけあおうぜ 磨こうぜ  
それが武道で 男の掟  
きわめつくそう 合氣道  
きわめつくそう 合氣道

オリジナルTシャツ製作所!!

**TAICHI KOUBOU**

学園祭・体育祭  
イベント・サークル  
クラスTシャツ etc...

**太一工房 熊本店**  
熊本県熊本市中央区子飼本町3-20  
TEL&FAX 096-243-7717  
http://www.taichikoubou.jp/

子飼交差点近く

**川島整形外科**

整形外科・リハビリテーション科  
院長 川島重明  
KAWASHIMA SEIKO GEKA  
日本整形外科学会 整形外科専門医

スポーツ障害の治療  
腰・首・膝の健康相談

| 診療時間                       | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 午前9:00~12:00               | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 午後2:00~6:00<br>(受付は5:30まで) | ○ | ○ | ○ | × | × | × |

※コインパーキング使用可(無料)  
TEL (096) **345-2666**



|       |                |         |
|-------|----------------|---------|
| 副 将   | 松岡 忠           | 工・資     |
| 主 務   | 菊池 良介          | 工・土     |
| 企 画   | 木佐貫哲也          | 工・金     |
| トレーナー | 小川 錦一          | 工・電気    |
| 部 誌   | 元田 繁喜          | 工・電子    |
| 内 務   | 太田 茂           | 法・法     |
| 会 計   | 永井 祐司          | 工・資     |
| 道場長   | 林田 卓司          | 法・法     |
| OB 担当 | 木佐貫 悦子<br>(野田) | 法・文     |
| OB 担当 | 岡崎 春子<br>(柴尾)  | 法・法     |
| 主 将   | 第十五代           |         |
| 副 将   | 中川 一也          | 工・合化    |
| 副 主 務 | 江田 康幸          | 工・合化    |
| 主 務   | 宮原 正志          | 法・法     |
| 主 務   | 友納 憲昭          | 工・金     |
| 副 務   | 田中 三雄          | 工・電気    |
| 内 務   | 河野 孝明          | 工・生機    |
| 会 計   | 高木 泰幸          | 教・小     |
| 統制長   | 佐藤修一郎          | 工・金     |
| 道場長   | 山口 清           | 法・法     |
| OB 担当 | 河野 道子<br>(永田)  | 薬・薬     |
|       | 山本 康子<br>(則広)  | 教・中国    |
| 主 将   | 第十六代           |         |
| 副 将   | 井ノ口元弘          | 法・法     |
| 副 主 務 | 岳本 康広          | 工・電子    |
| 主 務   | 白石 肇           | 工・電気    |
| 副 務   | 松山 秀明          | 工・土     |
| 内 務   | 増田 毅           | 工・電子教・中 |
| 会 計   | 池田 治夫          | 英       |
| 会 計   | 矢野 真二          | 教・中     |
| 会 計   | 渡邊 英郎          | 工・電子    |
| 道場長   | 松田 修一          | 工・化     |
| 書記    | 伊地知保夫          | 工・電気    |
| 書記    | 坂井 和子          | 工・建築    |
|       | 飛田 成子<br>(細田)  | 教・小     |
| 主 将   | 第十七代           |         |
| 副 将   | 里 輝次           | 工・機     |
| 主 務   | 後藤 栄徳          | 法・法     |
| 副 務   | 野田 光明          | 工・環建    |
| 副 務   | 田中 修           | 法・法     |
| 統制    | 鶴田さゆり          | 理・地     |
| 計     | 奥野 彰           | 工・環建    |
| 会 計   | 小島 光広          | 法・法     |
| 道場長   | 下村 高幸          | 教・小     |
| 本部道場  | 前垣 康晃          | 教・中     |
| 連絡担当  | (永田)           |         |
| 企 画   | 中山 広海          | 法・法     |
| OB 担当 | 佐藤 恵子<br>(仙田)  | 教・特看    |

|          |                |      |
|----------|----------------|------|
| 十周年準備委員長 | 鴻江 和洋          | 医    |
| 副会計      | 松原 英仁          | 法・法  |
|          | 平山 静雄          | 工・合化 |
|          | 中山 和年          | 工・工化 |
| 底 務      | 大河原小夜子<br>(川添) | 教・養  |
| 底 務      | 小岩崎由美<br>(西山)  | 教・養  |
| 主 将      | 第十一代           |      |
| 副 将      | 小桜 昇           | 工・工化 |
| 副 主 務    | 佐藤 公明          | 工・合化 |
| 主 務      | 岡 三治生          | 工・資  |
| 副 主 務    | 末次 正博          | 法・法  |
| 会 計      | 古瀬 郁也          | 工・電気 |
| 道場長      | 内田 浩一          | 工・機械 |
| 部 誌      | 竹下 英則          | 理・化  |
|          | 中野 和徳          | 法・法  |
|          | 青木 一幸          | 教・心  |
|          | 伊豆野由美<br>(片岡)  | 薬・薬  |
|          | 奥山 和子<br>(新保)  | 薬・薬  |
| 底 務      | 池田 守世<br>(藤瀬)  | 医附看  |
| 底 務      | 藤岡千鶴子<br>(山口)  | 医附看  |
| OB 担当    | 宇野 富子<br>(馬場)  | 教・養  |
| 主 将      | 第十二代           |      |
| 副 将      | 永松 勉           | 工・資  |
| 副 主 務    | 稲田 武彦          | 工・機  |
| 主 務      | 弘津 一郎          | 薬・薬  |
| 副 主 務    | 松下 文次          | 工・電子 |
| 副 主 務    | 内勢 達朗          | 工・電気 |
| 会 計      | 姫野 達雄          | 理・生  |
| 底 務      | 道野 修           | 工・電子 |
| 道場長      | 満木 洋子<br>(有村)  | 教・小  |
| OB 担当    | 山内美紀子<br>(田崎)  | 教・中  |
| 主 将      | 第十三代           |      |
| 副 将      | 橋本 幸博          | 教・中  |
| 副 主 務    | 加藤 道雄          | 工・機  |
| 主 務      | 段下 和興          | 法・法  |
| 副 主 務    | 釜野 裕           | 法・法  |
| 副 主 務    | 西 裕志           | 医    |
| 会 計      | 中島 康博          | 工・資  |
| 統制       | 西山 正博          | 教・小  |
| 計        | 藤田 保雄          | 工・合化 |
| 道場長      | 佐久間富美子<br>(右田) | 教・中  |
| OB 担当    | 第十四代           |      |
| 主 将      | 栃原 豊秋          | 工・土  |
| 副 将      | 松尾 辰也          | 工・資  |

|       |               |      |       |      |               |      |
|-------|---------------|------|-------|------|---------------|------|
| OB 担当 | 林 広美<br>(岡田)  | 教・小  | 主 将   | 第十八代 | 陣内 隆志         | 理・物  |
| OB 担当 | 本多喜美子<br>(川口) | 教・小  | 副 将   |      | 有江 裕禎         | 教・小  |
| 副 務   | 山口 明美         | 医・短  | 主 務   |      | 牧 幹人          | 工・機  |
| 渉 外   | 岡本 京子         | 医・短  | 副 務   |      | 永田 昌敏         | 法・法  |
| OB 担当 | 川口 薫          | 医・短  | 統 制   |      | 吉竹 弘智         | 理・数  |
|       | 第二十二代         |      | 会 計   |      | 吉用 和史         | 工・土  |
| 主 将   | 青木 康弘         | 工・機  | OB 担当 |      | 友納 隆子<br>(大山) | 教・小  |
| 副 将   | 野元 剛二         | 工・情報 | 主 将   | 第十九代 | 沼口 芳弘         | 工・建  |
| 副 将   | 佐々野裕一         | 工・電子 | 副 将   |      | 河西 宏之         | 理・物  |
| 万生館連絡 |               |      | 主 務   |      | 平田 博志         | 工・生機 |
| 主 務   | 緒方 浩一         | 教・小  | 副 務   |      | 奈良貞好一         | 法・法  |
| 副 務   | 中島 俊一         | 法・法  | 副 務   |      | 河村 修治         | 工・土  |
| 副 務   | 万造寺 博         | 工・生機 | 統 制   |      | 丹生 仁          | 工・生機 |
| 企 画   | 海田 直親         | 法・法  | 会 計   |      | 水上 和実         | 理・化  |
| 会 計   | 赤木 哲也         | 工・電子 | 本部道場  |      | 野田 英伸         | 工・電気 |
| 会 計   | 古野誠太郎         | 法・法  | 連絡担当  |      | 大塚 真実<br>(上野) | 教・中  |
| 万生館担当 | 日高 真理<br>(岡田) | 工・工化 | OB 担当 |      | 第二十代          |      |
| OB 担当 | 竹中 幸恵<br>(田崎) | 教・特看 | 主 将   |      | 石原 雅宏         | 薬・薬  |
| OB 担当 | 中川 雅子<br>(藤原) | 工・合化 | 副 将   |      | 村上 浩明         | 工・電気 |
| 統 制   | 山中 公明         | 工・土  | 副 将   |      | 竹中 哲朗         | 工・電気 |
| 主 将   | 第二十三代         |      | 主 務   |      | 中村 秀一         | 法・法  |
| 副 将   | 小野 勘治         | 工・土  | 統 制   |      | 野口 司          | 教・小  |
| 副 将   | 本田 雅孝         | 教・中  | 副 務   |      | 大塚 洋一         | 教・小  |
| 万生館連絡 | 廣松 洋一         | 工・土  | 副 務   |      | 福田 耕一         | 工・情報 |
| 統 制   | 矢野 敬徳         | 工・土  | 副 務   |      | 藤末 泰三         | 工・生機 |
| 主 務   | 河野 与一         | 工・土  | 会 計   |      | 金丸 寛美         | 医技短  |
| 渉 外   | 山口 恭史         | 工・情報 | 会 計   |      | 宮縁 明美<br>(林)  | 医短・看 |
| 企 画   | 山下 和博         | 工・生機 | OB 担当 |      | 松山 昌子<br>(伏見) | 医短・看 |
| 会 計   | 佐々木雅宣         | 文・史  | OB 担当 |      | 第二十一代         |      |
| 会 計   | 松本 直子<br>(砥錦) | 教・小  | 主 将   |      | 牧菌 典浩         | 工・環建 |
| OB 担当 | 小野 陽子<br>(永田) | 工・建  | 副 将   |      | 中國 幸治         | 工・建  |
| 主 将   | 第二十四代         |      | 主 務   |      | 藤原 康弘         | 工・機  |
| 副 将   | 井口 英樹         | 法・法  | 統 制   |      | 福山 稔啓         | 法・法  |
| 副 将   | 嶋田 高彰         | 文・地域 | 副 務   |      | 上田 勇二         | 工・資  |
| 主 務   | 福永 隆智         | 教・小  | 副 務   |      | 溝口 雅道         | 工・情報 |
| 会 計   | 岩瀬 聖子<br>(緒方) | 教・小  | 渉 外   |      | 肝付 寛          | 工・環建 |
| 万生館担当 | 本田美樹子         | 薬・薬  | 企 画   |      | 末永 剛          | 工・金  |
| 渉 外   | 田上あけみ<br>(毛利) | 教・小  | 企 画   |      | 鹿瀬島美文<br>(富永) | 教・中  |
| OB 担当 | 柳 秀昭          | 文・地域 | 万生館担当 |      | 田嶋 恵子<br>(矢川) | 教・中  |
| 企 画   | 第二十五代         |      | 会 計   |      | 市川 宗孝         | 薬・製  |
| 主 将   | 酒井 雅章         | 工・土  | 会 計   |      | 本田 育美<br>(西本) | 教・小  |
| 副 将   | 池田 耕三         | 教・小  | 会 計   |      | 深田 裕子         | 教・小  |
| 副 将   | 斉藤 成彦         | 法・法  |       |      |               |      |
| 副 将   | 安井 勝彦         | 法・法  |       |      |               |      |

|         |               |      |         |                        |      |
|---------|---------------|------|---------|------------------------|------|
| 会 計     | 矢野ゆき枝<br>(久保) | 文・文  | 企 画     | 山下 修                   | 工・土  |
| 渉 外     | 大山 弘          | 理・数  | 会 計     | 万造寺隆子<br>(二村)          | 理・化  |
| 副 将     | 馬渡 滝帆         | 法・法  | 会計 補佐   | 安東 洋希                  | 工・建  |
| 万生館担当   |               |      | 万生館担当   |                        |      |
| OB 担当   | 北園 力          | 工・土木 | OB 担当   | 水本 秀文                  | 工・土  |
| 総 務     | 矢野 佳之         | 教・中技 | 主 将     | 第二十六代                  |      |
| 書 記     | 宮崎竜一郎         | 工・機械 | 副 将     | 鮫島 昭典                  | 理・数  |
|         | 第三十一代         |      | 統 制     | 高島 正樹                  | 工・土  |
| 主 将     | 藤 剛人          | 工・財開 | 主 務     | 松尾 裕作                  | 理・数  |
| 副将兼企画   | 結城 要          | 工・土木 | 企 画     | 下田 文康                  | 工・土  |
| 統 制     | 久富 善雄         | 工・電情 | 副 務     | 山口 真二                  | 工・機  |
| 主 務     | 山口 美也         | 教・小  |         | 梅木 明広                  | 工・土  |
| 副 務     | 木下 敬視         | 理・物理 | 万生館担当   | 桑原喜久子<br>(田中)          | 理・地  |
| 渉 外     | 本田 賢孝         | 工・機械 | 会 計     | 牧田 朋子<br>(宮川)          | 教・小  |
| 企画長     | 植木 恩          | 理・生物 | OB 担当   | 西行多加子<br>(奥村)          | 文・地域 |
| 会 計     | 赤星たか枝         | 教・中教 |         | 第二十七代                  |      |
| OB 担当   | 古賀 美和         | 文・地域 | 主 将     | 上 藺 大毅                 | 工・土木 |
| OB 担当   | 村上 和美<br>(森岡) | 教・小  | 副 将     | 末藤 政文                  | 工・電情 |
| 総 務     | 坂井 真理         | 教・小  | 統 制     | 七浦 孝                   | 工・土木 |
| 万生館担当   | 山村 聡子         |      | 統 制     | 藤丸 治                   | 理・生物 |
|         | 第三十二代         |      | 主 務     | 斉藤 由里                  | 工・応化 |
| 主 将     | 筒井 昭博         | 文・地域 | 企 画     | 田島 二仁                  | 工・土木 |
| 副 将     | 矢野 亨          | 法・法  | 会 計     | 柴永 麻里                  | 工・応化 |
| 統制長     | 奥山 崇          | 工・電情 | 副 務     | 船間 芳憲                  | 医短・放 |
| 統 制     | 石田尾武文         | 理・生物 | 渉 外     | 木庭 靖子                  | 教・小  |
| 主 務     | 佐藤 愛美         | 理・生物 | 万生館担当   |                        |      |
| 副 務     | 小島 智邦         | 文・文  | 会計 補佐   | 蓑田 豊                   | 工・電情 |
| 企 画     | 秋好 博之         | 理・数  | 兼 OB 担当 |                        |      |
| 万生館担当   | 塩足 健司         | 工・機械 | 主 将     | 第二十八代                  |      |
| 渉 外     | 宮本 昌志         | 工・機械 | 副 将     | 平川 好宏                  | 工・応化 |
| 会 計     | 豊福 里枝         | 工・材開 | 統 制     | 中曽根宏治                  | 理・物  |
| OB 担当   | 高田 敦子         | 薬・薬  | 主 務     | 野口 悟                   | 工・応化 |
|         | 第三十三代         |      | 企 画     | 秋永 善之                  | 法・法  |
| 主 将     | 大西 洋          | 法・法  | 会 計     | 西代 孝志                  | 工・応化 |
| 兼 OB 担当 |               |      | 渉 外     | 山口 由美<br>(中山)          | 教・看  |
| 副将兼会計   | 鷲野 宏美<br>(市原) | 理・生物 | 万生館担当   | 御手洗 匡<br>松尾 敦子<br>(大部) | 工・材開 |
| 統 制     | 原田 健二         | 工・電情 | OB 担当   | 西代ツユ子<br>(江原)          | 理・数  |
| 万生館担当   | 浜田 祥蔵         | 教・小  |         | 第二十九代                  |      |
| 主務兼企画   | 第三十四代         |      | 主 将     | 馬場なおみ<br>(伊地知)         | 法・法  |
|         | 板平 憲洋         | 法・法  | 統制兼企画   | 河野加奈世                  | 文・文  |
| 主 将     | 永留 健          | 工・土木 | 主 務     | 松本 祐子                  | 文・史  |
| 副 将     | 高橋 秀実         | 法・法  |         | 第三十代                   |      |
| 統 制     | 仁尾 綾子         | 理・物理 | 主 将     | 荒牧 茂雄                  | 工・土木 |
| 主 務     | 村上 晃治         | 工・材開 | 副 将     | 平川 裕之                  | 工・土木 |
| 副 務     | 堀 匡説          | 工・材開 | 統 制     | 小林 豊                   | 工・土木 |
| 万生館担当   | 緒方 優子         | 教・小  | 主 務     | 上田 賢成                  | 教・小  |
| 企 画     | 第三十五代         |      | 企 画     | 北村 和久                  | 教・小  |
| 会 計     |               |      |         |                        |      |

|                                                                                        |                                                                                                         |                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 渉 外<br>企 画<br>企画兼副務<br>会 計<br>OB 担当<br>総 務<br>庶 務                                      | 石井 令子<br>橋本 千佳<br>登坂 雄一<br>田中 綾子<br>入部 典子<br>井浦 耕之助<br>木村 亮太<br>第四十一代<br>緒方 稔                           | 理・物理<br>文・地域<br>理・物理<br>教・小<br>教・小<br>文・文<br>教・生 <sup>対</sup>                      |
| 主 将<br>兼本部担当<br>副 将<br>統 制<br>主 務<br>副 務<br>渉 外<br>企 画<br>企 画<br>会 計<br>OB 担当<br>OB 担当 | 下川 証史<br>坂井 秀成<br>谷口 浩史<br>十時 智恵<br>原 朗人<br>井上 峰行<br>黒木 裕貴<br>峰上 大有<br>中村 英里<br>釜崎 佳代<br>第四十二代<br>松本 吉広 | 理・物理<br>工・知産<br>教・中<br>工・知産<br>文・地域<br>工・知産<br>工・知産<br>法・法<br>理・物理<br>文・人間<br>工・物生 |
| 主 将<br>副 将<br>兼本部担当<br>統 制<br>主 務<br>企 画<br>会 計<br>OB 担当                               | 小杉 浩明<br>井上 侑<br>湯治 由希子<br>(山口)<br>石原 滋之<br>古澤 由希子<br>深草 理沙<br>第四十三代<br>友永 泰輔                           | 理・物理<br>理・地学<br>工・知産<br>文・歴史<br>文・歴史<br>教・特看<br>法・法                                |
| 主 将<br>副 将<br>兼 OB 担当<br>統 制<br>主 務<br>渉 外<br>企 画<br>会 計<br>本部担当                       | 池上 泰司<br>末永 奈央子<br>平石 遼太<br>津曲 ともみ<br>三丸 慶治<br>井上 三徳<br>(濱口)<br>松崎 洋行<br>第四十四代<br>岡山 真希                 | 工・知産<br>文・歴史<br>教・中<br>文・歴史<br>法・法<br>法・法<br>法・法<br>法・公政                           |
| 主 将<br>企画兼会計<br>副将兼統制<br>兼本部担当                                                         | 鎌田 亮介<br>第四十五代<br>松浦 佑一<br>潟浦 はづき<br>平野 利政<br>大串 えり<br>徳永 航<br>野口 淳                                     | 教・看護<br>法・法<br>理・理<br>理・理<br>工・電気<br>法・法<br>理・理<br>工・数理                            |

|                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主 将<br>副 将<br>万生館担当<br>統 制<br>主 務<br>企 画<br>会 計<br>OB 担当   | 藤田 大介<br>奥村香保里<br>(松本)<br>奥村 直樹<br>上野 佳代<br>馬場恵美子<br>大澤 往江<br>高見 尚子<br>第三十六代<br>平川 豊延<br>中熊明日香<br>(平野)                                                                                                                                                                        | 工・機械<br>工・材開<br>工・機械<br>教・特看<br>教・小<br>法・法<br>教・小                                                                                                                                                  |
| 主 将<br>副 将<br>万生館担当<br>統 制<br>兼 OB 担当<br>主 務<br>企 画<br>会 計 | 田尻 理香<br>吉岡 哲郎<br>宮崎 朋子<br>(上妻)<br>吉田 夕記<br>第三十七代<br>舛田 健児<br>平木 実穂<br>赤星 貴司<br>寺脇喜代香<br>池田さやか<br>第三十八代<br>鬼村 英志<br>北原 拓<br>田中 浩一<br>大津 和樹<br>田中 真帆<br>(橋本)<br>第三十九代<br>甲斐 朋子<br>笠置 倫子<br>中村 茜<br>村島 裕文<br>富永久美子<br>小泉あゆみ<br>第四十代<br>湯治 健富<br>(山田)<br>佐野 宏二<br>山野 泰典<br>濱川 真也 | 文・地域<br>法・法<br>教・小<br>文・史<br>薬・薬<br>教・養護<br>工・電気<br>教・小<br>文・地域<br>教・小<br>教・小<br>工・知産<br>文・文<br>工・知産<br>工・電気<br>工・知生<br>法・公政<br>理・物理<br>教・中<br>教・小<br>理・物質<br>文・地域<br>教・地教<br>文・歴史<br>工・知産<br>理・物理 |
| 主 将<br>副 将<br>万生館担当<br>統 制<br>主 務                          |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                    |

|                                                           |                                                                                                                                                       |                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| OB 連絡                                                     | 松浦 薫<br>第四十六代<br>赤水 透                                                                                                                                 | 薬・薬                                                                                                            |
| 主将企画<br>副将兼<br>主務兼<br>OB 担当<br>統 制<br>万生館担当<br>会計兼渉外      | 関 寿子                                                                                                                                                  | 工・物生<br>理・理                                                                                                    |
| 主将<br>副将<br>兼 OB 担当<br>統制<br>主務<br>渉外<br>企画<br>会計<br>本部担当 | 東村 宜尚<br>岡部 周央<br>第四十七代<br>柿川 伸介<br>名古屋 知里<br>奥 梓<br>大塚 奈津子<br>小野尾 麻里<br>入江 俊裕<br>田中 展子<br>村田 周作<br>第四十八代<br>山内 章大<br>佐藤 加織<br>畑田 尚輝<br>浦 泰二<br>岩切 辰憲 | 理・理<br>工・電気<br>工・社環<br>文・総人<br>理・理<br>法・法<br>法・法<br>法・法<br>工・情電<br>医・放射<br>工・建築<br>教・中学<br>理・理<br>工・マテ<br>工・物生 |

|                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="text-align: center;"><b>武道具専門店</b></p> <h1 style="text-align: center;">武蔵堂</h1> <p style="text-align: center;">株式会社 竹山商事</p> <p>〒862-0950 熊本市中央区水前寺5丁目22-15<br/>TEL:096-381-6466</p> <p>営業時間 平日 10:00~19:00<br/>土・日・祭日 10:00~18:30<br/>定休日 月曜日</p> | <div style="text-align: center;"> <br/> <b>KUSABA CLINIC</b><br/> <b>皮膚科 耳鼻咽喉科</b> </div> <h2 style="text-align: center;">草場医院</h2> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <b>院長 草場辰哉</b><br/> <small>(日本皮膚科学会認定専門医)</small> </div> <div style="text-align: center;"> <b>副院長 草場雅子</b><br/> <small>(日本耳鼻科学会認定専門医)</small> </div> </div> <p style="text-align: center;">JR宇土駅より徒歩3分<br/>宇土駅前郵便局正面</p> <h3 style="text-align: right;">23-5851</h3> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 編集後記

初めに、この演武大会の開催にあたりまして御多忙中原稿を御寄せ下さいました関係者各位、更に広告を下さいました皆様方に深く感謝申し上げます。

昨年の演武大会を終えてから、この五十周年記念演武大会に向け様々な準備と挑戦を行って参りました。成功や失敗、この一年間で色々なことがありました。この日を目標に努力してきた私達の経験が、今後の熊本大学合気道部を更に発展させていくことを願っております。

本日はお忙しい中御足労頂き、有難うございました。

発行者

熊本大学合気道部

発行日

平成二十四年十一月二十四日

編集発行者

木野 唯可

印刷所

株みどり印刷社



炭火焼鳥専門店

YAKITORI TORITATS

とりたつ

熊本市中央区黒髪5丁目2-2  
TEL (096) 345-5548



HIGASHI DENTAL OFFICE

**東齒科医院**

歯周病専門医

藤崎宮参道入口

北千反畑町1-1

☎ 343-3357

駐車場有り

☎ 0120-833578



プログラムに不備がございましたので、訂正致します。

一〇頁 式次第

【誤】

(25) 腰 技

齊藤 健人  
山田 雄太・荒川 拓登  
上橋 壮太

(三回生)  
(二回生)  
(一回生)

【正】

(25) 腰 技

井手口貴弘  
山田 雄太・荒川 拓登  
上橋 壮太

(三回生)  
(二回生)  
(一回生)

| 1番 10 |      |
|-------|------|
| 2     | 長谷義隆 |
| 4     | 福本哲雄 |
|       | 高橋征也 |
| 6     | 高木陽助 |
|       | 森脇正信 |
|       | 本田好才 |
| 9     | 池田俊博 |
| 10    | 野中雅之 |
|       | 川筋修治 |
| 熊本大学  | 木野唯可 |

| 2番 10  |       |
|--------|-------|
| 部長     | 松田博貴  |
| 熊本信用金庫 | 真子武士  |
| 砂泊道場   | 横手博幸  |
| 益城道場   | 田口幸明  |
| 福岡道場   | 秦孝之   |
| 出水道場   | 天辰哲志  |
| 17     | 中山広海  |
| 九連委員長  | 山崎詩織  |
| 熊大     | 井手口貴弘 |
|        | 鎌田愛美  |

| 3番 9 |      |
|------|------|
| 12   | 松下文次 |
|      | 内勢達朗 |
|      | 満木洋子 |
| 17   | 里輝次  |
|      | 野田光明 |
|      | 田中修  |
|      | 佐藤恵子 |
| 19   | 河西宏之 |
| 21   | 福山稔啓 |

| 7番 10 |       |
|-------|-------|
| 10    | 仲野拓美  |
|       | 坂田聖郎  |
|       | 神山憲次郎 |
| 11    | 伊豆野由美 |
|       | 石瀬郁也  |
|       | 佐藤公明  |
|       | 池田守世  |
|       | 青木一幸  |
| 12    | 姫野達雄  |
|       | 永松勉   |

| 6番 10 |       |
|-------|-------|
| 12    | 稲田武彦  |
|       | 弘津一郎  |
| 14    | 太田茂   |
| 15    | 宮原正志  |
|       | 江田康幸  |
|       | 田中三雄  |
|       | 河野孝明  |
| 16    | 伊地知保夫 |
| 18    | 吉竹弘智  |
|       | 有江禎裕  |

| 5番 10 |       |
|-------|-------|
| 22    | 海田直親  |
|       | 野元剛二  |
|       | 竹中幸恵  |
|       | 日高真理  |
|       | 山中公明  |
|       | 青木康弘  |
| 24    | 井口英樹  |
|       | 田上あけみ |
|       | 嶋田高彰  |
|       | 福永隆智  |

| 4番 10 |       |
|-------|-------|
| 25    | 水本秀文  |
| 26    | 高島正樹  |
| 27    | 田島二仁  |
| 32    | 秋好博之  |
|       | 矢野亨   |
| 34    | 高橋秀実  |
|       | 板平憲洋  |
|       | 三村優子  |
| 39    | 中村茜   |
|       | 富永久美子 |

| 8番 9 |      |
|------|------|
| 48   | 浦泰二  |
|      | 佐藤加織 |
|      | 山内章大 |
|      | 畑田尚輝 |
|      | 岩切辰憲 |
| 49   | 緒方詩帆 |
|      | 中村真人 |
|      | 瀬口真人 |
| 学園大学 | 山本啓示 |

| 9番 9 |       |
|------|-------|
| 40   | 山野泰典  |
|      | 湯治健富  |
| 41   | 下川証史  |
|      | 緒方稔   |
|      | 坂井秀成  |
|      | 釜崎佳代  |
| 42   | 深草理沙  |
|      | 石原滋之  |
|      | 湯治由希子 |

| 10番 9 |       |
|-------|-------|
| 43    | 池上泰司  |
|       | 友永泰輔  |
| 45    | 平野利政  |
| 46    | 関寿子   |
|       | 東村宜尚  |
|       | 赤水透   |
| 47    | 名古屋知里 |
|       | 村田周作  |
|       | 奥 梓   |

| 13番 10 |       |
|--------|-------|
| 熊本大学   | 齊藤健人  |
|        | 山田雄太  |
|        | 荒川拓登  |
|        | 堀之内里美 |
|        | 前田夢依  |
|        | 安本彩乃  |
|        | 上橋壮太  |
|        | 西村衣未  |
|        | 松本茉莉花 |
|        | 水田加奈子 |

| 12番 10 |       |
|--------|-------|
| 学園大学   | 沖田将平  |
|        | 橘 優介  |
|        | 前田良二  |
|        | 大漣健志  |
|        | 山下瑞孝  |
|        | 一 良幸  |
| 鹿児島大学  | 齊田葉月  |
|        | 小原さゆり |
|        | 一ッ松あい |
|        | 濱崎信乃介 |

| 11番 9 |       |
|-------|-------|
| 福岡大学  | 野田高希  |
|       | 部坂有未  |
|       | 梁瀬美咲  |
|       | 志津田将治 |
|       | 伊藤智亮  |
|       | 平方恭佑  |
| 佐賀大学  | 高野寛基  |
|       | 島田千帆  |
|       | 西脇大貴  |